

信 州 大 学

総合健康安全センター一年報

令和7年度

信州大学総合健康安全センター

目 次

・ はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・ 総合健康安全センター組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
・ 令和7年度総合健康安全センター年間事業・業務等実施状況・・・・・・・・	3
I 健康管理	
1. 健康診断	
1) 健康診断の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2) 健康診断事後措置・保健指導・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2. 保健室における感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3. メンタルヘルス	
1) 休学・不登校等の学生対応，休職教職員対応・・・・・・・・	6
2) メンタルヘルス対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
4. 過重労働による健康障害防止対策・・・・・・・・・・・・・・・・	10
5. 診療・応急措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
6. 感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
7. 健康教育	
1) 健康科学・理論と実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
2) メンタルヘルスに関する教育・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3) 一次救命講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
II 安全衛生	
1. 総括管理	
1) 安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価・・・・・・・・	17
2) 学内の実態調査と情報の更新・・・・・・・・・・・・・・・・	17
3) 安全衛生管理体制の構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
4) 安全衛生委員会及び学生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5) ネットワーク構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6) 緊急事態への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
7) 環境活動との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
8) 化学物質リスクアセスメントの実施・・・・・・・・・・・・・・	19
2. 作業環境管理	
1) 職場巡視・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
2) 作業環境測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
3) 薬品管理システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
4) ハザードマップの作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
3. 作業管理	
1) 学内の実態把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
2) 実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施・・・・・・・・	21
3) 日常の自主的管理の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
4) 産業保健スタッフによる研究室の支援・・・・・・・・・・・・	22

4. 健康管理	
1) 過重労働による健康障害防止対策	22
2) 喫煙対策	22
3) ストレスチェック制度	23
5. 安全衛生教育	23

<資料編>

資料1 学生定期健康診断受診率	24
資料2 学生への生活習慣に関する調査	31
資料3 学生定期健康診断精検結果	36
資料4 令和6年度学部生, 院生 過年度・休学・退学実態調査結果	38
資料5 施設利用状況	47

はじめに

ようやくCOVID-19感染も学内では落ち着き、ポストコロナ時代となりました。しかしながら2024年の日本人の死亡原因の8位はCOVID19感染症であり、インフルエンザの12.6倍の方が亡くなっています。また、以前よりも感染症に対する関心や取り組みが一般的になったにもかかわらず、2025年度の後半には2011年に発生したH1N1インフルエンザ感染流行以来の大規模な感染が学内で発生しました。輸入麻疹感染者が卒業式に出席した事案も発生しました。健診で結核と診断された事案も発生するなど、ひきつづき感染対策、流行への備えも欠かすことはできません。その対策として、感染症発生のモニタリングは継続して適宜周囲喚起をおこなっています。海外からの研究者、留学生についての事前健康状態、ワクチン接種歴の把握、入国前接種の推奨については、ようやく学内皆様の御理解を得て全学部で統一した運用が行われるようになりました。

講義などあらゆる場面を通じて感染症予防の啓蒙は継続し、感染症は自分が罹患しないように注意するだけでなく、「自分が罹患した際に周囲に広めない行動をとる」という教育を重視してきました。

禁煙推進については、敷地内全面禁煙となり10年目となりました。いずれのキャンパスでも敷地内の禁煙はほぼ達成されつつありますが、キャンパス周囲のポイ捨てが続いています。禁煙支援を引き続き行うと共に、喫煙の害とマナーについても引き続き啓蒙を行っています。学生の喫煙率は年々低下していますが、教職員の喫煙率があまり低下しないこと、大学周辺での喫煙、周囲の住民への受動喫煙を発生させていることは引き続き大きな問題と感じています。

安全活動では、労働安全衛生法施行令等が改正されたこと、熱中症対策、高齢者の転倒防止対策等が義務化されたことに伴い、従来よりもさらに多くの対策が実施されています。しかしながら、労働災害、学生の実験中の事故などがなくなった訳ではなく、重大なインシデントも発生しており、引き続き、安全教育の充実が求められています。

引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和8年5月

信州大学総合健康安全センター

センター長 森田 洋

<総合健康安全センター組織>

令和8年5月1日現在

センター長（統括産業医）	森田 洋	学校医（非常勤）	
健康教育部門長	高橋 徹	松本キャンパス	
環境・安全衛生部門長	（統括産業医）	内科	安尾将法
		内科	加藤沢子
		精神科	鈴木一浩
教員		教育学部	
教授 森田 洋（医師（内科・統括産業医））		内科	佐藤俊一
准教授 高橋 徹（医師（精神科））		精神科	竹内博人
助教 山崎 勇（臨床心理士）		工学部	
		内科	武田 毅
看護職		〃	小島貴彦
松本キャンパス		精神科	中澤友昭
樋口千鶴		農学部	
藤森美里		内科	池上 泰
小川洋子		精神科	向山隆志
宮島眞由美		繊維学部	
		内科	森 浩二
教育学部		精神科	遠藤謙二
兄玉邦代			
工学部		産業医	
小川智子		松本キャンパス事業場	塚原照臣
横井里沙		松本附属学校園事業場	高橋 徹
農学部		医学部附属病院事業場	金井信一郎
入原百合		〃	杉山暢弘
繊維学部		長野（教育）キャンパス事業場	日根野晃代
渡邊里菜		長野附属学校事業場	長谷川航平
カウンセラー（臨床心理士）		長野（工学）キャンパス事業場	長谷川航平
松本キャンパス		伊那キャンパス事業場	増田雄一
金井美保子		上田キャンパス事業場	森田 洋
徳永まゆ子			
行田太樹（非常勤）		事務室	
教育学部		酒井のぞみ	
大場美奈		藤巻匡詔	
宮崎恵美子（非常勤）		會田路子	
工学部		忠地美咲	
山崎 勇			
野村華子			
農学部			
下平憲子			
繊維学部			
山岡俊英			

令和7年度総合健康安全センター 年間事業・業務等実施状況

月	全学事業・会議・委員会・研修会等	実施日等		各キャンパス事業等	実施日等
4	・学生定期健康診断実施	3/27～4/21	松本	・入学式救護	4/4
	・学生定期健康診断有所見者再検査と事後指導	3/27～随時		・新入生健康状態調査票・アレルギー調査ウェブ回答実施	4/4～
	・新入生ガイダンス	4/3～		・新入生健康状態調査票有所見者の健康相談	4/4～
	・e-Learning新任教職員研修	4/3～5/31		・歯科健康診断(保健学科・医学部医学科)	4/15,4/17
	・全学安全衛生委員会	5/21, 6/27～7/3		・職員, 学生特殊健康診断実施及び事後指導	6/2
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	4/22, 5/16, 6/20		・職員定期健康診断実施及び有所見者再検査と事後指導	6/10,6/12, 6/13
	・講義「メンタルヘルズ概論」での「心と健康に関する調査」	5/10～5/12		・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握	随時
	・講義「健康科学・理論と実践」(新入生)	4/14～	教育	・新学期学生ガイダンス	4/1,2
	・日本学生相談学会第43回大会(名古屋大学)	5/10～5/12		・2年生,大学院1年生メンタルヘルズスクリーニング及び全員面接	4/2,5,14,15
	・禁煙サポート(学生・職員)	5/30～		・4年生メンタルヘルズスクリーニング	4/1
	・学生BMI有所見者保健指導	6/1～		・教育実習事前調査 健康相談及び個別面接	4/1～
				・教育実習連絡会・附属学校園養護教諭との情報交換会・実習生個別健康支援	4/23,5/20,6/2～6
				・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/14～
				・職員定期健康診断実施及び有所見者再検査と事後指導	5/14,16～
				・エイズ予防普及啓発物の設置への協力	6/1～30
			工学	・エイズ予防普及啓発物の設置への協力	5/14
				・救急救命講習会(Web)	6/1
				・献血への協力	6/4
6			農学	・学部2年次ガイダンス(メンタルヘルズと身体と健康教育)	4/3
				・職員特殊健康診断実施及び事後指導	4/10～
				・農学部FD	6/16
				・献血への協力	6/27
				・学生ところとからだの健康相談(メール相談)	随時
			繊維	・学部2年生向けメンタルヘルズ啓発講演会	4/8, 9
				・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	5/23, 5/30
				・学生対象:ストレス・マネジメントワークショップ	5/26, 6/26,7/1
				・留学生ガイダンス	5/29
				・献血への協力	4/24
			松本	・職員定期健康診断有所見者再検査及び健康相談	7/4～
				・信州サイエンスフェスタ(理学部)救護	8/2
				・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握	随時
7	・総合健康安全センター運営委員会	8/22	教育	・教育実習中間調査 健康相談及び個別面接	7/23～
	・全学安全衛生委員会	7/29～8/4, 9/17		・教育実習生個別健康支援	8/25～9/26
	・学生相談部会	7/28		・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	7/9
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	7/18, 9/19		・工学部メンタルヘルズセミナーFD	9/2
	・メンタルヘルズ講演会	9/2	工学	・職員健康診断実施及び10月入学学生定期健康診断実施及び有所見者再検査と事後指導	9/24, 26
	・普通救命講習会	8/8		・科学の祭典救護	8/7
	・第63回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会(慶應義塾大学 三田キャンパス南校舎ホール)	8/28～8/29		・職員健康診断・特殊健康診断実施及び事後指導	9/9～随時
	・全国大学保健管理協会第63回全国大学保健管理研究集会(福島大学 けんしん郡山文化センター)	9/10～9/11		・学生ところとからだの健康相談(メール相談)	随時
	・国立大学保健管理施設協議会2025年度協議会総会(山形大学 郡山商工会議所)	9/12		・救急救命講習会	9/18
	・信州大学安全衛生委員会薬品管理システム運用専門部会	7/16～7/22		・職員定期健康診断有所見者再検査と事後指導	10/1～
	・学生相談部会	12/10		・大学祭救護	11/2～11/3
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	10/17, 11/21, 12/19		・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握	随時
	・講義「メンタルヘルズ概論」での「心と健康に関する調査」	10/6～	教育	・職員健康増進講演会	11/12
	・ストレスチェック	10/1～10/22		・救急救命講習会	12/17, 18
10	・禁煙サポート(学生・職員)	10/1～		・教育実習連絡会	11/26
	・衛生管理者・安全管理者研修会	11/28		・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	12/10,12/27
	・防災訓練救護活動	10/10～10/29		・エイズ予防普及啓発物の設置への協力	12/1～31
	・学生BMI有所見者保健指導	10/1～	工学	・大学祭救護	10/25
				・献血への協力	12/10
				・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	12/10
				・エイズ予防普及啓発物の設置への協力	11/20
			農学	・大学祭救護	10/18
				・献血への協力	12/3
				・普通救命講習会	12/6
				・学生ところとからだの健康相談(メール相談)	随時
			繊維	・職員健康診断実施及び10月入学学生定期健康診断実施及び有所見者再検査と事後指導	10/8
				・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	11/18, 12/3
				・献血への協力	11/28
				・繊維学部FD	11/27
				・エイズ予防普及啓発物の設置への協力	11/20～12/2
12			松本	・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	1/28
				・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握	随時
			教育	・教育実習校との情報交換・実習生個別健康支援	2/5～19
				・次年度新入生麻疹予防接種履歴調査	3/12～4月中旬
			工学	・職員特殊健康診断実施及び事後指導	2/13～随時
				・卒業式救護	3/23
				・学生ところとからだの健康相談(メール相談)	随時
			農学	・卒業式救護	3/24
				・教職員健康増進講演会	3/26
1	・入学試験救護(大学入学共通テスト・前期後期試験)	1/17～18, 2/25～26, 3/12	松本	・職員,学生特殊健康診断実施及び事後指導	1/28
	・総合健康安全センター運営委員会	2/17～20, 3/3～9		・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握	随時
	・全学安全衛生委員会	2/18		・教育実習校との情報交換・実習生個別健康支援	2/5～19
	・総合健康安全センター業務打合せ会・研修会	3/19		・次年度新入生麻疹予防接種履歴調査	3/12～4月中旬
	・学生相談センター及び学部学生相談室との会議	1/16, 2/20, 3/13	工学	・職員特殊健康診断実施及び事後指導	2/13～随時
	・第27回フイジカルヘルスフォーラム(立命館大学)	3/18～3/19		・卒業式救護	3/23
	・普通救命講習会	2/3		・学生ところとからだの健康相談(メール相談)	随時
	・在学生学生アレルギー調査	2/1～		・卒業式救護	3/24
			繊維	・教職員健康増進講演会	3/26

<日常業務>

(1) 保健管理活動業務

・診療(内科・精神科)
・カウンセリング(含附属学校園スクールカウンセラー)
健康相談・応急手当

・感染症対策
・救急箱貸出・健康診断証明書発行・臨時健康診断
(体育授業・大会出場関係)
・内科医, 精神科医, 嘱託産業医巡回
・健康増進支援

(2) 安全衛生活動業務

・勤務時間記録書データ入力及び法定面接指導等対象者の把握
・長時間労働対象者に対する産業医面談, 医療面談の施行
・長期休職者に対する職場復帰プログラムの実践
・松本キャンパス安全衛生委員会・安全衛生活動
・衛生管理者職場巡視支援
・内科医, 精神科医, 嘱託産業医巡回
・労基署各種届出

I 健康管理

心身の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

1. 健康診断

1) 健康診断の実施

教職員、学生の健康状態を把握し、健康障害の防止、健康増進を図る。

(1) 教職員定期健康診断の検査項目

① 法定項目

内科診察、身長、体重、視力及び聴力（1,000ヘルツ及び4,000ヘルツの音に係る聴力）、胸部エックス線検査、血圧の測定、貧血検査（赤血球数、血色素量）、肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）、血中脂質検査（LDL-C、HDL-C、空腹時中性脂肪又は随時中性脂肪）、血糖検査（空腹時血糖又は随時血糖、ヘモグロビンA1c）、尿検査（尿中の糖及び蛋白）、腹囲の測定、心電図検査

② 法定外項目

貧血及び造血器疾患検査（ヘマトクリット、白血球数、血小板、血清鉄）、消化器疾患検査（ペプシノーゲン、ピロリ菌抗体）、ウイルス性肝炎検査（HBs-Ag（定性）及びHCV-Ab（定性））、膵臓疾患検査（アミラーゼ及びCA19-9）、腎疾患検査（クレアチニン）、高尿酸血症（尿酸値）、前立腺がん検査（PSA）、卵巣がん検査（CA125）及び大腸がん検査（便潜血）

令和7年度における教職員定期健康診断は、人間ドック等の受診者を含め予定者はほぼ受診した。学内での健康診断実施は、受付時間の指定を行い混雑のないよう留意した。

(2) 学生の健康診断について

学校保健安全法に基づき、身長・体重測定、視力検査、聴力検査（会話域）、血圧測定、尿検査、胸部エックス線検査、内科診察を実施した。 **（資料1 健康診断受診者数・受診率）**

新入生約2,000名は松本キャンパスで健康診断を実施し、持病があり通院中の学生1名を除いた全員が胸部エックス線を含め健康診断を受診した。

あわせて「新入生健康状態調査票」をウェブから回答してもらい、既往症や現病とその治療状況・感染症のワクチン接種歴・アレルギー・機能障害等の健康状態を把握し、入学後の体調についても確認を行った。

令和7年度は現病有者161名、アレルギーのうちエピペン携帯者17名とアナフィラキシー既往者16名、機能障害を有する者14名の健康相談を実施した。

今年度もBMI（やせと肥満）に対する保健指導を行った。やせについては早期の介入を目指し7月に、対象はBMI17.4以下の学生にBMIの値や昨年度からの体重減少をもとに、またBMI17.5～24.9の学生では昨年度より5.0kg以上体重が減少した学生とした。対象者449名中244名（54.3%）について、指導方法はキャンパス毎、面接やGoogleForm、メールを組み合わせ実施した。元々のやせもあるが、精神的不調や、発達障害のある学生も多く、今後も早期の介入が必要と感じた。

肥満については10月に、対象はBMI28.0以上の学生とBMI25.0～27.9で前年度より5.0kg以上体重増加のある学生を対象とした。対象者448名中188名（42.0%）について、指導方法はキャンパス毎、面接やGoogleFormを組み合わせ実施した。肥満の学生は4月の健診時より体重減少を認める学生が多く、やせの学生に比べ精神的不調や発達障害を訴える学生は少なかった。

健康の保持増進、生活習慣病予防の観点からも今後も指導継続は必要である。来年度については対象者を、やせBMI18.4以下、肥満BMI25.0以上とし、保健指導を継続していくこととした。

健康診断受診者は現病歴や生活習慣を把握するための問診を実施し、その回答をもとに有所見者には内科診察や健康相談を実施した。

令和4年度から新保健管理システムを導入し、健診結果・診療録・問診票・新入生健康状態調査票を電子化することで、学生や教職員が各キャンパスに異動しても健康管理が一元化され各保健室との連携がスムーズになっている。

生活習慣 **（資料2 生活習慣統計）**

- ・喫煙習慣は、学年が上がるに従い喫煙率は少しずつ上昇しているが、全体の喫煙率は時々喫煙する学生を含めて5.7%で前年度と同じであった。
 - ・飲酒習慣は、全体では毎日飲酒するが0.8%、時々飲酒するが49.8%で、学年が上がるに従い飲酒率は上昇し、3年生では毎日飲酒が1.2%、時々飲酒するが81.0%になっている。
 - ・運動習慣は、平均で時々している学生が63.5%、毎日している学生は11.3%であった。
 - ・平均睡眠時間は学年に大きな差はなく、5時間以上6時間未満が42.2%と最も多く、次いで7時間以上8時間未満も32.2%と多かった。
 - ・朝食習慣は、毎日食べている学生は1年生では男子72.0%、女子80.4%だったが、学年が上がるに従いその割合は低下し、2年生以上の男子平均は40.4%、女子は56.7%となった。
- 朝食をとらない学生は、男子に多い傾向がある。

生活習慣は、入学した直後の1年生時と比較して、学年が上がるに従い飲酒割

合や朝食の欠食などが増加している。

喫煙習慣は、1．2年生ではほとんど喫煙者がいないが、3．4年生で7～9%に増加している。

この結果を元に、1年生は生活の自己管理ができるように指導すること、また上級生は生活習慣の悪化を抑制するような生活指導を行うことが必要と考えられる。

1年次の「健康科学・理論と実践」で喫煙による影響、体に及ぼす害など喫煙予防について講義をしている。また飲酒についても講義をし、新入生はアルコールパッチテストを全員に配布しセルフチェックを勧め、自分の体質について興味を持つきっかけづくりとなっている。

2) 健康診断事後措置・保健指導

健診結果に基づいて事後措置を行う。

健康診断の結果、異常が認められた場合には、個別に診察、再検査、保健指導などの事後指導を実施した。 **（資料3 健康診断結果）**

また随時、禁煙希望者への禁煙サポートやメタボリックシンドローム予防のため体重測定や食事・運動指導を実施した。

2. 保健室における感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して、学生は感染症報告システム、教職員は報告フォームを用い健康危機管理を実施している。

令和6年度もCOVID-19、インフルエンザの対応が中心となったが、信州大学の「就学、就業が制限される疾病と制限期間」に沿って、学生及び教職員に周知し、確定診断のあった者の対応と体調不良者の健康相談を実施、感染症の拡大防止に努めた。

感染症関連の体調不良者の対応は、学生1,440名（前年1,749名）、教職員282名（前年376名）であった。

3. メンタルヘルス

1) 休学・不登校等の学生対応、休職教職員対応

休学・休職の情報収集と分析を行い対応する。教職員については、職場復帰支援プログラムの定着を図る。

(1) 過年度、休学、退学調査と対応

① 調査方法

「休学者・不登校学生の情報収集、分析及び指導方法等」については、平成17年11月8日開催の第46回学生委員会において、総合健康安全センターで実態を把握して学生委員会で指導方法等の検討をすることが了承されており、これに基づき学生の過年度（「標準修業年限超過」をいう。以下同じ。）、休学、退学調査を行った。実際の調査内容は、学部学生については茨城大学から、大学院学生については東京科学大学（旧 東京工業大学）からの依頼に基づき、各学部及び研究科に依頼して作成した令和6年度過年度・休学・退学実態調査を、総合健康安全センター事務室でまとめたものである。

② 調査内容

令和6年度における学部学生、大学院生それぞれの過年度、休学、退学について、過年度は学部等ごとに過年度者数及び過年度者率の年度別変遷データを、休学は学部等ごとに休学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データを、退学は学部等ごとに退学者数の年度別変遷、入学年度別及び分類群（背景因子）データをまとめた。

また、このデータを各学部等に送付するとともに学生委員会で報告し、学部等において学生指導をする際の参考データとして利用されている。

以下にデータのうち令和2年度から令和6年度の年度別過年度者率、令和5年度の入学年度別休学、退学状況の調査について掲載する。**（資料4）**

<学部学生編>

① 過年度について **（資料4 【学部生年限超①】）**

各年度の5月1日現在における、令和2年度から令和7年度までの年度別過年度者率「各年度の在学生数に対する過年度者数の割合」は、5%前後で推移しているが、令和4・5年度の一時的な低下を経て、令和7年度には5.29%とやや高めの水準となった。

② 休学について **（資料4 【学部生休学】②）**

入学年度別の休学者数（海外留学を含む）は、過年度学生が81名と最も多く、次いで令和3年度入学者が55名、令和4年度が35名、令和5年度が27名、6年度が12名となっている。全休学者211名に占める過年度学生名の比率は38.4%（前年度32.8%）であり、過年度学生数に占める休学者の比率は、17.80%（前年度16.46%）と継続して高い傾向にある。

③ 退学について **（資料4 【学部生退学】①）**

令和6年度における退学者は全体で118名（前年度103名・15名増）であった。

入学年度別の退学者を見ると過年度学生が47名で全体の39.8%を占めている（前年度44名（42.7%））。次いで令和3年度が21名、令和4年度が19名、令和6年度が16名、令和5年度が15名となっている。また、退学者118名中94名（79.7%）（前年度103名中80名（77.7%））が男子学生で、そのうちの41名（43.6%）が過年度学生である。

また、在学者全体に対する退学率は1.35%であったが、このうち過年度学生の在学者の退学率は10.33%（前年度（10.97%））と依然高い傾向にある。

<大学院学生編>

① 過年度について

令和2年度から令和7年度までの年度別過年度者率「各年度の在学者数に対する過年度者数の割合」の各年度の5月1日現在を%で表したものである。

ア 修士（資料4 修士年限超②）

令和7年度の過年度学生数は35名（過年度率2.2%）であり、過去4年間ほぼ横ばいで推移している。文系（7.6%）が理系（2.0%）に比べて過年度者率が高い。

イ 博士（資料4 博士年限超②）

令和7年度の過年度生数は53名（過年度者率11.0%）と高い水準である。令和2年度から令和7年度にかけて、50人前後の横ばいでの推移となっている。

② 休学について

令和6年度の入学年度別の休学者は、

ア 修士（資料4 修士休学②）

入学年度別の休学者数は、令和5年度が14名で休学者全体の43.8%、令和6年度が6名で休学者全体の18.8%、過年度学生が11名で休学者全体の34.4%を占めている。長期履修生としての在学者数に占める休学率は20.00%（前年度28.57%）と減少した。

イ 博士（資料4 博士休学②）

入学年度別の休学者数は、過年度学生が29名と最も多く休学者47名に占める割合は61.7%となっており、過年度学生として在学者数に占める休学率は50.00%と高い。また、研究科別に休学者数をみると、総合医理工学研究科医学系専攻【4年制】が14名と多く、過年度学生の休学者全体の48.28%を占めている。

③ 退学について

令和5年度の入学年度退学者は、

ア 修士（資料4 修士退学①）

令和6年度における退学者は全体で39名であり、前年度（42名）と同水準の状況が続いており、総合理理工学研究科工学専攻（17名）に退学者が集中している。

イ 博士（資料4 博士退学①）

令和6年度における退学者数は全体で43名であり、前年度（29名）から大きく増加している。研究科別にみると、総合医理工学研究科医学系専攻【4

年制】が22名（51.2%）と集中している。

（2）信州大学職場復帰支援プログラムの実施

法人化後に開始した「信州大学職場復帰支援プログラム」は職員に浸透し早期から産業医が復職に関わる体制が確立している。1ヵ月以上病気休業した後に復職する場合には職場復帰支援プログラムを利用して、円滑な職場復帰の支援を行っている。1ヵ月以上の療養を要する診断書が提出されると、職場等から総合健康安全センターに連絡が入り、復帰支援プログラムの第1ステップに則り病気休暇当初からの支援を開始している。このことは、原因は何か、職場に関連した問題が病状に影響を与えていないか否か、病気休暇早期の段階で鑑別することを可能とする。もしも職場に関連した問題が病状に影響を与えている場合には、良質の自宅療養、早期の疾病の改善の実現のために、できる限り早急に対応することとしている。その場合、本人面談のほか、主治医からの情報提供、上司、人事部門、家族等と連携し、病気休暇が長期化しないように努めている。また、医学部附属病院の提供する職場復帰プログラム（復職前のリハビリテーション）を利用する職員も増え、復職後も附属病院専門職が職場にアドバイスをする機会がもたれ、より円滑な復帰につながっている。

従来は職場復帰支援プログラムの適応期間が曖昧であったが、原則として勤務時間軽減は3ヶ月以内（産業医が特に必要と判断した場合は6ヶ月以内）、業務軽減との配慮は6ヶ月以内とすることが定められた。

2）メンタルヘルス対策

カウンセリング体制を整備、充実しつつ、学生及び教職員の心の健康管理を行う。学生相談センターと連携、協働して全学の精神保健状況の実態把握に努め、課題を把握し、対策を検討し、対応を図る。

学生のメンタルヘルス対策については、当センター精神科医及び臨床心理士が、学生相談センター所属の臨床心理士や各キャンパスの保健師・看護職、各学部学生相談員、担当教職員と連携、協働して取り組んでいる。全てのキャンパス・学部で臨床心理士が常駐する体制によって、緻密で円滑な連携が可能となっている。

教職員のメンタルヘルス対策については、各部署担当の産業医を中心に適宜当センターの精神科医、産業医、臨床心理士が連携し対応している。

令和7年度は精神科医、臨床心理士合わせて全学で延べ3,648名の学生メンタルヘルス相談と延べ284名の職員メンタルヘルス相談が行われた。

個別カウンセリングや心理検査、精神医学的対応のほか、学内外関係部署との連携も適宜行い、学生や教職員に対して最善の支援が行われるよう努めている。また、新入生を対象とした共通教育科目「健康科学・理論と実践」の講義「メンタルヘルス概論」において、メンタルヘルスチェック（「大学生活に関する調査」：対人関係、希死念慮、カウンセリング希望などを含めた51項目のアンケート）を実施し、自己

のメンタルヘルスに注意を向けることを啓発した。(新入生以外では、工学部の2年生以上においてもメンタルヘルスチェックを実施している)。

(1) 各学部相談室にかかる活動

全学部において、各学部学生相談室に担当カウンセラーと保健師・看護職が構成メンバーに加わり、学部の相談委員や教職員と協働連携を図りながら相談室の運営に携わっている。具体的には、相談活動に関するコンサルテーション、相談室主催の企画に関する助言・提案、学生対応の指針作成、チューター面談の補助、FD・SD、支援会議など各学部の特色やニーズに応じた活動を行っている。

(2) 教育学部附属学校園スクールカウンセリング

教育学部附属6校園(長野3校・松本3校園)を対象にスクールカウンセリングを行っている。長野地区、松本地区それぞれ週1日を各校の実情にあわせて時間配分を行い対応している。児童生徒の個別カウンセリングや保護者との個別面談の他、児童生徒・園児の行動観察、教師とのコンサルテーション、チーム支援会議への出席などを行っている。また必要に応じて児童相談所、保健センター、医療機関など学外関係機関との連携も行い、児童生徒・園児へのよりよい支援体制の整備にも努めている。

(3) カウンセラー間の協働・連携

・カウンセラーミーティング

カウンセラーの技術向上や情報共有のため、当センターと学生相談センター所属の臨床心理士・公認心理師合同によるミーティングを計9回(令和7年5月27日、6月9日、7月7日、9月8日、10月20日、11月10日、12月1日、令和8年1月26日、令和8年3月19日)(オンライン会議にて開催。令和8年3月19日のみ、センター業務打合せ後に、松本キャンパスにて対面で開催)を行った。ハイリスク事例の情報共有や対応の検討、発表者持ち回りの事例検討、各学部の状況報告などがその内容である。

4. 過重労働による健康障害防止対策

平成18年度に労働安全衛生法が改正され、信州大学では「過重労働からの健康障害を防ぐための指針」を作成し教職員に対する過重労働対策に積極的に取り組んできている。

裁量労働制の教員は、毎月勤務時間記録書を提出し、本人の申出がある場合と、過重労働(裁量労働制の教員で時間外労働が100時間超もしくは3ヶ月連続80時間超(令和6年2月以降は時間外労働が80時間超)、裁量労働制以外の教職員で時間外労働が60時間超)がみられた教職員に対しては総合健康安全センターから通知し、産業医面談を呼びかけると共に、疲労度チェックを行って頂き健康状態の把握に努めている。ま

た、本人の申出がなくとも、健診の結果及び当センターへの受診や相談の状況及び職場からの意見を考慮し産業医面談を積極的に行い、専門医の受診、治療専念を進言している。

裁量労働制教員の勤務時間記録書の提出の徹底は一部事業場を除きほぼ100%を達成することができた。また、各事業場（キャンパス）の安全衛生員会でも長時間労働についての議論が充実してきており、毎年長時間勤務者は減少してきている。また、産業医面談の機会を増やすために、産業医面談は対面に加えて Google meet を利用した遠隔面談を積極的に利用する事で、面談機会を増やし、実施回数も増加している。本年度は1年間で延べ109回の過重労働面談を含む産業医面談を実施した。

そのほか、看護職の段階での連絡、確認、相談によるフォローアップも充実しており、医師が非常勤である事業場での健康管理は円滑に行われている。

5. 診察・応急措置

診療科は内科、精神科があり、診察は当センター医師、学校医が行っている。

（資料4 施設利用状況 学生・職員）

看護職は診察前の問診、心電図検査（松本）や診察介助の実施、学内の体調不良者やけが人の処置を行っている。

6. 感染症対策

さまざまな感染症の発生に対して健康危機管理として対応を行っている。令和6年度は輸入麻疹（5年度卒業式参加者）の接触者調査を長野市保健所と協力し数百名の接触の可能性、ワクチン接種歴の把握を行った。留学生1名が新たに結核と診断され、従来から治療継続中の学生と共に状況をフォローしている。幸い、学内で接触者健診を行う必要は発生していない。2025年度COVID-19は学生教職員合わせて385名の届け出があり、前年度から約7割減少した。その一方で、2025年11～12月にインフルエンザ感染者が多数発生し（約1,200名）、全学に注意喚起を行った（注：医学部附属病院に勤務する教職員を除く）。過去の感染と同様にサークル活動を介しての伝搬が多数を占めた。ただし、学生大学院生については出席停止の要件となる感染の届け出のあった人数であり、休業期間中を中心に多くの感染者が発生していたと推測している。

7. 健康教育

1) 健康科学・理論と実践

全学1年生必須の「健康科学・理論と実践」について、総合健康安全センターは「理論」を担当している。健康増進、生活習慣病を防ぐ、メンタルヘルス、ライフスキルアップ、薬物に対する注意、性の健康について知識の習得を図る目的で、学期を前半、後半にわけて各クラス100名前後の20クラスの学生に対して、計7回の講義を行い、全学教育センターの体育担当教員が8回実技を分担している。本年は昨年度と同様に産婦人科医師の担当を除く講義のすべてを総合健康安全センターの医

師・公認心理士が担当した。内容の充実も図り、個人の健康という側面だけでなく、社会全体の問題、ダイバーシティと健康といったアプローチの充実を図った。従来の生活習慣、禁煙、飲酒の害、精神疾患、コミュニケーション、性の健康に加えて、「ダイバーシティと障害」「認知症サポーター養成講座」も健康科学理論の中で開講している。

(1) 授業のねらい

健康科学・理論は、受講者が学生時代はもとより生涯に渡って心身の健康の維持増進について正しい認識と習慣を得ることを目的とする。

(2) 授業の概要

健康は個人、社会、地球環境にまたがる大きな課題である。こうした観点から、この科目は心身の健康、キャンパスにおける安全、社会における望ましい人間関係、環境と健康、などについての知識と行動規範の修得を目標とし7回の講義を行った。

① イントロダクション、健康なキャンパスライフのために（担当 森田）

本講義開設の主旨、概要、受講に関する注意事項を解説したのち、健康なキャンパスライフを過ごすためのフィジカルヘルス（肉体的な健康）について、食生活、睡眠、禁煙、アルコールの害（アルコールハラスメント対策を含む）、感染予防（麻疹、結核、インフルエンザ、ノロウイルス）について解説した。また、例年学生支援課の協力で講義中にアルコールパッチテストを全新生入生に行っていたが、オンラインのため総合健康安全センター（ワクチン接種開始後は共通教育係）で配布した。アルコールハラスメント、急性アルコール中毒の防止に役立つと期待される。

② メンタルヘルス概論（担当 高橋）

青年期は人生において最も心が激しく揺れ動く時期であり、誰でも心の健康を損なう可能性があるが、そのことを理解している者は少ない。心の健康を維持するために、学生が注意すべきことは何か、また、心の健康を害したときに、どのように対処すべきかについて、主として大学生によくみられる心の病気を取り上げて解説した。

③ ライフスキルアップ（担当 公認心理士）

センターカウンセラーが担当した。社会に適応していくために、大学においてもライフスキル（社会人基礎力）の向上を図ることが求められている。この授業では、対人コミュニケーションに焦点をあてた講義・演習を通して、ともに学び働くために必要な仲間との関係を構築・維持するためのコツを学ぶようにした。大学でも、さらに卒業後にも通用する対人コミュニケーションの体得へ向けた第一歩となることを期待している。

④ ダイバーシティと障害（担当 山崎）

障害に対する理解を深め偏見なく対応するために必要な基礎的知識、姿勢を身

につける事を主眼に講義を行った。

⑤ 薬物乱用を防ぐ、海外渡航時に注意すべき感染症（担当 森田）

大麻等違法薬物が学生に蔓延してきている。興味本位で違法薬物に手を出してしまうことが多いが、市販薬・抗菌薬の乱用の害も増加している。これらの薬物乱用を広く扱い、社会的、健康的両面からの問題を理解し、正しく対処する事の意義を理解するようにした。

また、大学として海外留学を推進するなかで、海外特有の健康問題についての理解を深める重要性が増している。海外渡航時に注意すべき感染症に対する予防法危険を事前に予知する事の重要性、その情報を収集する手段についての情報提供、自己管理の動機付けを行った。

⑥ 認知症サポーター養成講座（担当 森田）

認知症サポーター養成講座は厚生労働省が推進する認知症サポーターキャラバン事業「キャラバン・メイト養成研修」を修了したものが、講師となることが出来る。サポーター養成講座を受講した者にはオレンジリングが全国キャラバン・メイト連絡協議会から配布される。森田は松本市の開催するキャラバン・メイト養成研修にも協力し、行政が開催主体である認知症サポーター養成講座を、信州大学生を対象に講義の一環として開催する体制を整えた。本講義によりサポーターとなった者は市全体養成者の半数以上を占めている。

⑦ 性感染症予防、性の健康（保健学科金井教授）

性の健康について正しく理解するための知識を習得し、またパートナーとの関連性も含め、性被害に遭わないために知っておくこと、実践すべき事などを理解するようにした。また、先進諸国のなかで日本ではHIVなど性感染症に罹患する若者が増えている。クラミジア感染症は自覚症状が乏しいが、女性の不妊の要因となりうる。性感染症の概要、予防について解説した。妊娠、性被害など性の健康について解説した。子宮頸がんやHPVワクチンについても情報提供を行っている。

2) メンタルヘルスに関する教育

FD・SD等を通じて、学生相談担当教職員の技能向上を図る。また、学生、教職員が、セルフケア、ラインによるケアができるよう教育を行う。

FD・SD、学生向けガイダンス、ワークショップ等を下記の日時で行った。

(1) FD・SD

・メンタルヘルス講演会

演題：21世紀のアイデンティティ形成の課題と対策

講師：熊代亨先生

（精神科専門医・精神保健指定医）

日時：令和7年9月2日（火）15：00～16：00

場所：中央図書館2階セミナー室

(後日、eALPSのアーカイブ配信を実施)

・人文学部FD

演題：「学生支援をめぐる人文学部内の対応について」

講師：徳永まゆ子カウンセラー

日時：令和7年6月24日（火）

場所：ZOOM配信

・農学部FD

演題：「合理的配慮が必要な学生への対応及び農学部生の相談状況について」

講師：学生相談センター障害学生支援室 森光晃子助教・下平憲子カウンセラー

日時：令和7年6月16日（月）13：00～14：00

場所：ZOOM配信

・工学部FD

演題：「工学部の学生相談の動向」

講師：野村華子カウンセラー

日時：令和7年9月2日（火）14：00～15：00

場所：ZOOM配信

・繊維学部FD

演題：「近年のカウンセリングの傾向と学生対応の工夫」

講師：山岡俊英カウンセラー

日時：令和7年11月27日

場所：ZOOM配信

・繊維学部FD

演題：「学生相談・メンタルヘルス対策の現状と『レジトレ！』のご紹介」

講師：高橋徹准教授

日時：令和8年3月26日（木）

場所：ZOOM配信

(2) 新入生・在学生等ガイダンス

＜松本キャンパス＞

・新入生ゼミナール「こころの健康」

動画コンテンツ（学生相談センター作成）をWEB上（eALPS）で視聴

＜教育キャンパス＞

・令和7年4月 2年生，3年生，4年生学生相談室・カウンセラー室ガイダンス

内容：カウンセリング利用など学生相談に関する情報を紹介

- ・令和7年4月 大学院学生相談室・カウンセラー室ガイダンス
内容：カウンセリング利用案内など学生相談に関する資料を eALPS に掲載

＜工学キャンパス＞

工学部2年生全体ガイダンス，3年生全体ガイダンス，修士1年ガイダンスにおいてカウンセリング利用案内を配布した。

＜伊那キャンパス＞

- ・令和7年4月3日（木）農学部2年生ガイダンス
内容：学生生活サイクルとストレス，学生相談室・カウンセリング室など各種相談窓口の利用案内
- ・令和7年4月8日 農学部3年生ガイダンス，大学院生ガイダンス
内容：学生相談室，カウンセリング室など各種相談窓口の利用案内配布

＜上田キャンパス＞

- ・令和7年5月29日（木）留学生ガイダンス
講話：「留学生生活とこころの健康」

（3）学生向け講演会・ワークショップ

- ・繊維学部 メンタルヘルス啓発講演会（2年生対象）
演題：「健康な学生生活を過ごすために」
講師：山岡俊英カウンセラー
日時：令和7年4月8日（火），4月9日（水）（学科ごとに実施）
- ・繊維学部 ストレスマネジメントワークショップ
講師：山岡俊英カウンセラー
日時：令和7年5月26日（月）13：00～14：30（リラクセーション）
令和7年6月26日（水）15：00～16：30（心の整理法）
令和7年7月 1日（火）15：00～16：30（心の整理法）

3）一次救命講習

AEDの設置に伴い，一次救命措置が行えるようにする。

平成23年度より従来松本キャンパスの学生及び教職員を対象としていたものを，全学の学生及び教職員を対象を拡大して実施している。松本キャンパスでは松本広域消防局丸の内消防署の指導のもと，例年2回の講習会を開催しており，令和7年度は25名が受講し普通救命講習修了証が交付された。このほか，松本以外のキャンパスにおいても独自に講習会を開催している。

講習開催状況

開催キャンパス	開催日程	受講者数
松本	令和7年8月8日（金）	15名
	令和8年2月3日（火）	10名
長野（教育）	令和7年12月17日（水）、18日（木）	8名
長野（工学）	令和7年6月に学生向けオールメールにて総務省消防庁応急手当WEB講習の受講を案内し、併せてキャンパス内のAED設置場所を周知	
伊那	令和7年12月16日（火）	15名
上田	令和7年9月18日（木）	16名

II 安全衛生

1. 総括管理

教職員と学生の安全衛生管理体制に関する基盤を確立する。

1) 安全衛生に関する方針・目標・計画の策定と評価

学内の実態を反映させ、活動の方針・目標・計画を作成し、定期的に評価、見直しを行う。その中で、労働安全衛生マネジメントの導入を図る。

(1) 安全衛生に関する基本方針

基本理念

信州大学は、本学の教職員・学生の安全と心身の健康を守り、快適で健全な就業・修学環境を確保するため、積極的かつ継続的に安全衛生活動と健康づくりに取り組みます。また、安全衛生に対する意識と環境マインドを併せもつ人材を育成し、地域社会及び国際社会に貢献することを目指します。

基本方針

- 教職員・学生の良好な健康状態を保持できるように、教育研究環境の継続的な改善活動を行います。
- 教職員・学生のニーズに応じた健康増進活動を支援します。
- 教育研究環境における安全衛生活動を通じて、環境マインドを育みます。
- 安全衛生活動において法規を遵守し、倫理を重んじ、自主的な活動を促進します。

(2) 安全衛生活動の年間計画

全キャンパスの年間活動案について、信州大学安全衛生委員会に提示、これをもとにして各キャンパスでも年間計画が策定された。

2) 学内の実態調査と情報の更新

学内の実態調査及び把握を行うことで実態に見合った活動を計画する。実態調査は定期的に行い、更新する。

学内の実態については、日常の診療、健康相談、労働衛生相談、労働災害報告、過重労働面談、職場巡視結果等から、知ることができる。これらの実態把握から見られる傾向をもとに、組織または個人への安全面や衛生面に関する対応を行っている。組織的な対応が必要な場合は、安全衛生委員会及び学生委員会を通じて周知を行っている。

3) 安全衛生管理体制の構築

管理体制の構築と再点検，産業保健スタッフの養成と支援を行う。研究室単位の自主管理体制の支援を行う。

(1) 産業医と衛生管理者の養成

法定の週1回の職場巡視に対応するため，法人化後平成22年度まで衛生管理者を養成し，現在は年1回衛生管理者・安全管理者に対する研修を実施している。

また，現在学内の産業医有資格者は合計20名に達している。

(2) 産業医会議の開催

産業医会議は，本学の8事業場の嘱託産業医と当センターの医師が集まり，意見交換，情報共有を行う場である。例年，年1回を目安に開催し，その期間の課題，過重労働対策，復帰支援状況，各事業場の安全衛生委員会の内容などについて意見交換，情報共有を行っているほか，新規の法改正やガイドライン策定があった場合，本会議においてその紹介と解説を行い，産業医全員で情報共有を行っている。今後も引き続き産業医会議等により各嘱託産業医の活動内容について報告すると共に，法人へ意見すべき事項がある場合には建設的な意見を提案し，その機能を果たして行く予定である。

4) 安全衛生委員会及び学生委員会

実態を確実に把握し，両委員会を通じて活動内容の審議を行う。

年5回，信州大学安全衛生委員会（全学）を開催し，安全衛生活動について審議，報告を行い，全学の安全衛生活動の方向性を定めた。また，各事業場は毎月安全衛生委員会を開催して，安全衛生計画の策定及び実施報告，定期健康診断報告，職場巡視及びその結果への対応，過重労働対策などの活動状況の報告・審議が行われた。総合健康安全センターは，信州大学安全衛生委員会，松本キャンパス事業場安全衛生委員会の報告・審議事項の提案を行った。当センター事務室は，安全衛生委員会における事務局として，報告・審議事項のとりまとめを行っているほか，全学的な対応が必要な事項については，各キャンパスの安全衛生担当窓口へ指示，連絡等を行った。

毎月開催される学生委員会にセンター長が出席し，学生の健康管理，メンタルヘルス，過年度・休学・退学実態調査結果への対応など審議・報告を行ってきた。

5) ネットワーク構築（HP，e-learningの活用）

学内の安全衛生活動の支援のため，ネットワークを構築，活用を行う。

学内の安全衛生活動の支援のため，HPを活用し，学生，教職員へ情報発信を行っ

てきた。薬品管理システム、健診日程の掲示をはじめ各種のお知らせを行った。

6) 緊急事態への対応

学内の各種災害に備えるとともに、事態への対応を行う。

令和7年10月29日(水)、松本キャンパスにおいて教職員、学生による防災実務の習得、災害時の情報収集・伝達の迅速化及び防災意識の高揚を図るため防災訓練が行われた。総合健康安全センターとしては、避難訓練、災害対策組織設置訓練に参加するとともに、災害において傷病者が発生したと想定し、救助実務訓練を行った。

緊急事態への対応の一つとして、学生、教職員の学内でのケガや事故、感染症への対応がある。修学環境や就業環境に原因があると考えられるケガや事故の場合には、現地の視察等を行い、対応を検討している。

7) 環境活動との連携

安全衛生活動を通じて「環境マインドを持つ人材の養成」を行う。

本学は、信州大学環境方針を掲げ、「環境マインドを持つ人材の養成」を行っている。EMS事務局を中心に、内部監査員による内部監査が実施され、本学においては全学的に環境活動が展開されている。一方、安全衛生活動においても、職場環境について衛生管理者及び産業医等が巡視を通じてチェックを行い、改善が行われている。環境活動としての内部監査、安全衛生活動としての職場巡視は双方重なり合う部分もあり、整合性を取り、連携する必要性が時に指摘される。こうした中で、安全衛生の基本方針にある通り、豊かな環境マインドを醸成しつつ、安全衛生意識の向上に努めている。

8) 化学物質リスクアセスメントの実施

労働安全衛生法などの改正に伴い、平成28年から化学物質のリスクアセスメントが義務化され、令和5年4月1日から記録の作成と保存が義務付けられ、令和6年4月1日から化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選出等が義務付けられることになった。令和5年度第3回国立大学法人信州大学安全衛生委員会にて化学物質リスクアセスメントの改正について報告し、各学部等において化学物質を取り扱う全て教職員に周知・徹底するよう依頼した。各研究者により実施されたリスクアセスメントは、薬品件数などを記載した報告書及びリスクアセスメント実施レポート等（結果）を所属部局の安全衛生委員会に報告し、同委員会にてリスクアセスメントの適格性の確認、リスクアセスメントの結果を踏まえ、ばく露される程度を最小限度にするために講ずる措置や濃度基準値設定物質のばく露低減措置などについて調査審議することとした。

加えて、令和6年第1回国立大学法人信州大学安全衛生委員会において新たに、化

学物質リスクアセスメントの実施状況等を職場巡視と併せて確認（サンプリング調査）の上、各事業場安全衛生委員会へその結果を報告することとされた。

今後もリスクアセスメント活動を継続して化学物質による障害を予防し、また必要時にはその方法を改善していく予定である。

2. 作業環境管理

作業環境中の危険有害要因を取り除いて適正な作業環境を確保する。

1) 職場巡視

職場巡視を通じて、研究室の作業環境管理を適切なものにする。

定期の職場巡視については、衛生管理者を中心に実施された。それに合わせて産業医や安全管理者の職場巡視が実施された。職場巡視結果は、安全衛生委員会にて報告され、職場環境の状況が周知されると共に職場環境の改善につながっている。

臨時の職場巡視としては、学生や教職員の怪我や事故などが発生した場合に、現場の確認を行った。

2) 作業環境測定

労働安全衛生法施行令第21条に基づく作業環境測定を実施し、結果に基づいた対策を検討する。

作業環境測定は、各事業場において、その職場環境にある危険有害要因に沿って行われた。本学においては、主に電離放射線、有機溶剤、特化物について、作業環境測定が行われた。

3) 薬品管理システム

学内における化学物質使用量の正確な把握を行う。

学内における化学薬品の使用量、在庫量などの把握は、薬品管理システム（IASO）により行われている。

総合健康安全センター事務室は、薬品管理システム運用専門部会の事務局を務め、全学における薬品管理システムの運用の管理を行っている。薬品管理システムに関する情報は、当センターのHPに掲載されており、利用率の向上に努めている。

4) ハザードマップの作成

学内の危険有害要因を化学物質と特定し、その対策を講じる。

ハザードマップの作成は、第1期中期目標・中期計画（平成16年4月1日～平成

22年3月31日)において掲げられていた。平成19年度から化学物質を使用する学部においては、学部内の危険薬品所在箇所を記載したハザードマップを作成している。

平成20年度からは、このハザードマップを建物ごとに掲示し、学生を含めた避難訓練に利用する学部もある。

3. 作業管理

作業内容や作業方法を把握し、安全衛生面において適切な作業が行えるようにする。

1) 学内の実態把握

研究室単位等の危険有害要因の把握を行う。

各研究室における危険有害要因は、学部、学科、講座、研究室の研究内容によって非常に異なっている。これら危険有害要因の特定は、基本的にはその場で就業する教職員がその危険性を認識し、対応を図ることを原則としているが、職場巡視の中で産業保健スタッフが客観的に危険有害要因を把握し、改善を図ることにもなる。

各事業場により異なるが、衛生管理者、安全管理者、産業医、安全衛生担当者等の産業保健スタッフが同行し、巡視を行っている。

2) 実態に即した効果的な職場巡視の計画・実施

実態把握を元にした職場巡視の実施。

職場巡視は、各事業場において、定期的に実施されている。学生と教職員が修学・就業する場である大学は、極めて広大な敷地であり、企業や工場における作業工程と異なり危険有害要因が一元管理されているわけではなく、各研究室の実験における作業管理には限界がある。また、危険有害要因と接点がある作業中(実験や研究中)にまさに巡視を計画することは現実的ではなく、産業保健スタッフによる巡視のみでは限界がある。そのため講座や研究室単位による自主的な作業管理が求められ、その中で産業保健スタッフは適切な作業管理のための助言を求められた場合に専門的な立場で問題解決に当たることが期待される。

3) 日常の自主的管理の支援

研究室単位等の自主的管理が促進するようチェックリストの作成と運用を行う。ヒヤリハットに関する情報の集約を行う。

職場巡視用のチェックリストは、各研究室の自主的な管理を促進させる点でも活用されることを期待している。ただし、特に理系の研究室では、使用している化学物質が非常に多岐にわたっていることもあり、チェックリストの作成事態が容易でなく、使用する化学物質に精通した各研究室の教員による安全衛生管理に委ねられ

ているのが現実である。

ヒヤリハットは、ケガや事故を引き起こしそうになって、ヒヤリとしたり、ハットしたりした情報を共有し、同様のことを繰り返さないようにする安全衛生活動の一つである。安全衛生委員会で情報を共有し、重大災害を引き起こさないよう周知を行っている。ヒヤリハットの投書に基づき、巡視、委員会における報告・審議を行うことで改善を図った事例もあり、一定の成果を挙げている。

4) 産業保健スタッフによる研究室の支援

産業保健スタッフは、職場巡視等を通じて、研究室等の自主的な作業管理が促進されるように支援する。

職場巡視を通じて発見された問題箇所の改善について、巡視の際に検討も合わせて行っている。巡視によって顕在化した問題点の検討を行うことは、危険有害要因を認知につながり、研究室が自主的な管理を展開して行く上で、教育的な効果があるものと考えられる。したがって巡視の積み重ねは、重大災害の防止に効果があるものと考えられる。

4. 健康管理

1) 過重労働による健康障害防止対策

I. 健康管理の項目で述べた。

2) 喫煙対策

信州大学は平成28年4月より敷地内全面禁煙となった。構内の禁煙は順守されており、逸脱した喫煙行為は認めていない。しかし、いずれのキャンパスでも、条例で禁止されているにもかかわらず、門周囲など敷地境界におけるポイ捨てが散見され、その対策が現在課題となっている。松本地区では、令和元年7月1日に松本市受動喫煙防止に関する条例が施行され、これまでの吸い殻のポイ捨てだけでなく、歩きタバコ等も禁止された。松本市にも働きかけ、喫煙者の多い女鳥羽川河川敷には市により喫煙禁止の掲示が設置された。

学生の喫煙率は低下傾向が続いている1.2%（男性1.6%、女性0.5%）。それに対して採用条件に非喫煙を加える国立大学も複数となる社会状況であるなか、本学教職員の喫煙率があまり減少しないことは積年の課題であり、現在の教職員喫煙率は以前よりも低下しているものの7%である。

3) ストレスチェック制度

労働安全衛生法の改正に伴い、平成28年度よりストレスチェック制度が義務化された。本学においては、外注業者を変更しすべて（回答と結果の提供）オンラインで実施した。産業医間で集団分析結果を共有し、職場での業務改善に活かす活動を

行った。

令和7年度 信州大学ストレスチェック実施報告

1. 実施期間：令和7年10月1日（木）～10月22日（木）
2. 実施者：総合健康安全センター長
3. 事業場別実施状況

事業場名	実施対象者数 (在籍労働者数)	検査を受けた 労働者数	面接指導を受けた 労働者数
松本キャンパス	1,211	779	1
松本附属学校園	69	53	0
医学部附属病院	2,105	1,086	1
長野（教育）キャンパス	163	111	0
長野附属学校	110	94	0
長野（工学）キャンパス	434	262	0
伊那キャンパス	177	138	0
上田キャンパス	252	151	0
合 計	4,521	2,674	2

※実施対象者数は、令和7年8月1日現在でACSU業務IDを持つ教職員数。但し、特任教員（委嘱）、アルバイト雇用職員、非常勤講師及び人事データ上就業場所の記載ない非常勤職員（特別招へい教授等）を除く。

5. 安全衛生教育

安全衛生管理体制，作業環境管理，作業管理，健康管理について正しい知識を習得する。化学物質の自律的管理，リスクアセスメントの徹底が法的に規定されたことに伴い，あらたなリスクアセスメントの運用が開始されている。さらなる運用の徹底をはかるために，職場巡視時等にリスクアセスメントの実施状況等を監査する運用も開始した。

また衛生管理者・安全管理者研修は元航空自衛官（パイロット）でもある株式会社MedSciSportLab代表内田晃司先生に「パイロットと医師の視点から考える事故予防～ヒューマンエラーの低減を目指す～」の演題でご講演いただき，管理者だけでなく教員も多数参加して開催した。

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

共通教育

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文学部	165	165 100.00%	165 100.00%	165 100.00%	165 100.00%	159 96.36%
経法学部	198	198 100.00%	198 100.00%	198 100.00%	198 100.00%	192 96.97%
理学部	208	208 100.00%	208 100.00%	208 100.00%	207 99.52%	203 97.60%
医学部保健学科	147	147 100.00%	147 100.00%	147 100.00%	147 100.00%	146 99.32%
医学部医学科	120	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	115 95.83%
教育学部	250	250 100.00%	250 100.00%	250 100.00%	250 100.00%	245 98.00%
工学部	495	495 100.00%	495 100.00%	495 100.00%	495 100.00%	488 98.59%
農学部	174	174 100.00%	174 100.00%	174 100.00%	174 100.00%	171 98.28%
繊維学部	286	286 100.00%	286 100.00%	286 100.00%	286 100.00%	280 97.90%
計	2,043	2,043 100.00%	2,043 100.00%	2,043 100.00%	2,042 99.95%	1,999 97.85%

対象者数は 5月1日現在

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

人文学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	167	153 91.62%	153 91.62%	153 91.62%	20 11.98%	109 65.27%
3年生	155	120 77.42%	120 77.42%	120 77.42%	60 38.71%	100 64.52%
4年生	231	145 62.77%	145 62.77%	145 62.77%	143 61.90%	128 55.41%
計	553	418 75.59%	418 75.59%	418 75.59%	223 40.33%	337 60.94%

経法学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	199	184 92.46%	184 92.46%	184 92.46%	30 15.08%	155 77.89%
3年生	189	172 91.01%	172 91.01%	172 91.01%	97 51.32%	144 76.19%
4年生	205	155 75.61%	155 75.61%	155 75.61%	154 75.12%	147 71.71%
計	593	511 86.17%	511 86.17%	511 86.17%	281 47.39%	446 75.21%

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は4年生に含む

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

理学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	212	193 91.04%	193 91.04%	193 91.04%	94 44.34%	165 77.83%
3年生	200	159 79.50%	159 79.50%	159 79.50%	98 49.00%	130 65.00%
4年生	259	171 66.02%	171 66.02%	171 66.02%	168 64.86%	161 62.16%
計	671	523 77.94%	523 77.94%	523 77.94%	360 53.65%	456 67.96%

教育学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	250	248 99.20%	248 99.20%	248 99.20%	248 99.20%	244 97.60%
3年生	247	247 100.00%	247 100.00%	246 99.60%	245 99.19%	242 97.98%
4年生	269	264 98.14%	264 98.14%	262 97.40%	262 97.40%	256 95.17%
計	766	759 99.09%	759 99.09%	756 98.69%	755 98.56%	742 96.87%

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は4年生に含む

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

工学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	483	476 98.55%	476 98.55%	476 98.55%	116 24.02%	472 97.72%
3年生	513	483 94.15%	483 94.15%	483 94.15%	266 51.85%	469 91.42%
4年生	617	549 88.98%	549 88.98%	549 88.98%	529 85.74%	540 87.52%
計	1,613	1,508 93.49%	1,508 93.49%	1,508 93.49%	911 56.48%	1,481 91.82%

農学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	169	165 97.63%	165 97.63%	165 97.63%	77 45.56%	165 97.63%
3年生	176	172 97.73%	172 97.73%	172 97.73%	129 73.30%	172 97.73%
4年生	182	171 93.96%	171 93.96%	171 93.96%	168 92.31%	170 93.41%
計	527	508 96.39%	508 96.39%	508 96.39%	374 70.97%	507 96.20%

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は4年生に含む

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

繊維学部

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	283	271 95.76%	271 95.76%	270 95.41%	18 6.36%	269 95.05%
3年生	299	284 94.98%	284 94.98%	284 94.98%	48 16.05%	284 94.98%
4年生	356	322 90.45%	322 90.45%	318 89.33%	266 74.72%	320 89.89%
計	938	877 93.50%	877 93.50%	872 92.96%	332 35.39%	873 93.07%

対象者数は 5月1日現在
 学年は入学年度
 5年生以上は4年生に含む

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

医学部保健学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	145	145 100.00%	145 100.00%	145 100.00%	145 100.00%	139 95.86%
3年生	140	136 97.14%	136 97.14%	136 97.14%	136 97.14%	125 89.29%
4年生	158	156 98.73%	156 98.73%	156 98.73%	156 98.73%	153 96.84%
計	443	437 98.65%	437 98.65%	437 98.65%	437 98.65%	417 94.13%

医学部医学科

	対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
2年生	119	119 100.00%	119 100.00%	119 100.00%	119 100.00%	108 90.76%
3年生	120	118 98.33%	118 98.33%	118 98.33%	118 98.33%	107 89.17%
4年生	120	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%	120 100.00%
5年生	119	118 99.16%	118 99.16%	118 99.16%	118 99.16%	108 90.76%
6年生	134	130 97.01%	130 97.01%	130 97.01%	129 96.27%	124 92.54%
計	612	605 98.86%	605 98.86%	605 98.86%	604 98.69%	567 92.65%

対象者数は 5月1日現在

学年は入学年度

医学部保健学科の5年生以上は4年生を含む

医学部医学科の7年生以上は6年生を含む

2025年度 学生定期健康診断の受診者数・受診率

大学院

		対象者	身体計測	血圧測定	内科診察	胸部X-P	尿検査
人文科学研究科		0	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
教育学研究科		28	25 89.29%	25 89.29%	25 89.29%	25 89.29%	24 85.71%
経済・社会政策科学研究科		0	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
医学系研究科		38	38 100.00%	38 100.00%	38 100.00%	38 100.00%	36 94.74%
総合人文社会科学研究科	人間文化 学心理学 (L)	11	11 100.00%	11 100.00%	11 100.00%	11 100.00%	10 90.91%
	心理学 (E)	33	33 100.00%	33 100.00%	33 100.00%	33 100.00%	32 96.97%
	経済学 法学	4	4 100.00%	4 100.00%	4 100.00%	4 100.00%	2 50.00%
総合理工学研究科	理学	160	140 87.50%	140 87.50%	140 87.50%	140 87.50%	132 82.50%
	工学	655	636 97.10%	635 96.95%	636 97.10%	601 91.76%	626 95.57%
	繊維学	389	389 100.00%	389 100.00%	387 99.49%	205 52.70%	385 98.97%
	農学	160	148 92.50%	148 92.50%	148 92.50%	142 88.75%	148 92.50%
	生命医工学	96	95 98.96%	95 98.96%	95 98.96%	66 68.75%	94 97.92%
総合工学系研究科		0	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
総合医理工学系研究科		154	130 84.42%	130 84.42%	130 84.42%	113 73.38%	125 81.17%
計		1,728	1,649 95.43%	1,648 95.37%	1,647 95.31%	1,378 79.75%	1,614 93.40%

対象者数は 5月1日現在

2025年度 全学部学年別生活習慣統計

【喫煙】

喫煙	回答者	毎日喫煙		時々喫煙		喫煙しない		以前喫煙していた		
		人	%	人	%	人	%	人	%	
1年生	男	1,194	0	0.0%	0	0.0%	1,193	99.9%	1	0.1%
	女	848	0	0.0%	0	0.0%	848	100.0%	0	0.0%
	計	2,042	0	0.0%	0	0.0%	2,041	99.9%	1	0.1%
2年生	男	1,170	8	0.7%	3	0.3%	1,153	98.5%	6	0.5%
	女	782	1	0.1%	3	0.4%	778	99.5%	0	0.0%
	計	1,952	9	0.5%	6	0.3%	1,931	98.9%	6	0.3%
3年生	男	1,158	55	4.7%	69	6.0%	1,014	87.6%	20	1.7%
	女	729	1	0.1%	10	1.4%	715	98.1%	3	0.4%
	計	1,887	56	3.0%	79	4.2%	1,729	91.6%	23	1.2%
4年生	男	1,295	105	8.1%	73	5.6%	1,075	83.0%	42	3.2%
	女	752	10	1.3%	12	1.6%	726	96.5%	4	0.5%
	計	2,047	115	5.6%	85	4.2%	1,801	88.0%	46	2.2%
5年生	男	67	2	3.0%	1	1.5%	61	91.0%	3	4.5%
	女	48	0	0.0%	0	0.0%	48	100.0%	0	0.0%
	計	115	2	1.7%	1	0.9%	109	94.8%	3	2.6%
6年生	男	74	1	1.4%	1	1.4%	70	94.6%	2	2.7%
	女	50	0	0.0%	0	0.0%	50	100.0%	0	0.0%
	計	124	1	0.8%	1	0.8%	120	96.8%	2	1.6%
研究科	男	1,259	113	9.0%	85	6.8%	1,029	81.7%	32	2.5%
	女	381	1	0.3%	8	2.1%	369	96.9%	3	0.8%
	計	1,640	114	7.0%	93	5.7%	1,398	85.2%	35	2.1%
合計	男	6,217	284	4.6%	232	3.7%	5,595	90.0%	106	1.7%
	女	3,590	13	0.4%	33	0.9%	3,534	98.4%	10	0.3%
	計	9,807	297	3.0%	265	2.7%	9,129	93.1%	116	1.2%

2025年度 全学部学年別生活習慣統計

【飲酒】

飲酒	回答者		毎日飲酒		時々飲酒		飲酒しない	
			人	%	人	%	人	%
1年生	男	1,192	0	0.0%	21	1.8%	1,171	98.2%
	女	848	0	0.0%	8	0.9%	840	99.1%
	計	2,040	0	0.0%	29	1.4%	2,011	98.6%
2年生	男	1,171	2	0.2%	186	15.9%	983	83.9%
	女	782	0	0.0%	82	10.5%	700	89.5%
	計	1,953	2	0.1%	268	13.7%	1,683	86.2%
3年生	男	1,159	19	1.6%	935	80.7%	205	17.7%
	女	729	4	0.5%	594	81.5%	131	18.0%
	計	1,888	23	1.2%	1,529	81.0%	336	17.8%
4年生	男	1,296	18	1.4%	1,031	79.6%	247	19.1%
	女	752	3	0.4%	570	75.8%	179	23.8%
	計	2,048	21	1.0%	1,601	78.2%	426	20.8%
5年生	男	67	0	0.0%	56	83.6%	11	16.4%
	女	48	0	0.0%	38	79.2%	10	20.8%
	計	115	0	0.0%	94	81.7%	21	18.3%
6年生	男	74	2	2.7%	59	79.7%	13	17.6%
	女	50	0	0.0%	40	80.0%	10	20.0%
	計	124	2	1.6%	99	79.8%	23	18.5%
研究科	男	1,259	33	2.6%	985	78.2%	241	19.1%
	女	382	1	0.3%	279	73.0%	102	26.7%
	計	1,641	34	2.1%	1,264	77.0%	343	20.9%
合計	男	6,218	74	1.2%	3,273	52.6%	2,871	46.2%
	女	3,591	8	0.2%	1,611	44.9%	1,972	54.9%
	計	9,809	82	0.8%	4,884	49.8%	4,843	49.4%

2025年度 全学部学年別生活習慣統計

【運動】

運動	回答者		毎日運動		時々運動		運動しない	
			人	%	人	%	人	%
1年生	男	1,191	90	7.6%	867	72.8%	234	19.6%
	女	848	47	5.5%	519	61.2%	282	33.3%
	計	2,039	137	6.7%	1,386	68.0%	516	25.3%
2年生	男	1,170	187	16.0%	732	62.6%	251	21.5%
	女	782	77	9.8%	479	61.3%	226	28.9%
	計	1,952	264	13.5%	1,211	62.0%	477	24.4%
3年生	男	1,156	205	17.7%	723	62.5%	228	19.7%
	女	728	55	7.6%	446	61.3%	227	31.2%
	計	1,884	260	13.8%	1,169	62.0%	455	24.2%
4年生	男	1,296	187	14.4%	829	64.0%	280	21.6%
	女	752	43	5.7%	434	57.7%	275	36.6%
	計	2,048	230	11.2%	1,263	61.7%	555	27.1%
5年生	男	67	24	35.8%	36	53.7%	7	10.4%
	女	48	3	6.3%	34	70.8%	11	22.9%
	計	115	27	23.5%	70	60.9%	18	15.7%
6年生	男	74	20	27.0%	45	60.8%	9	12.2%
	女	50	8	16.0%	36	72.0%	6	12.0%
	計	124	28	22.6%	81	65.3%	15	12.1%
研究科	男	1,258	147	11.7%	842	66.9%	269	21.4%
	女	382	17	4.5%	198	51.8%	167	43.7%
	計	1,640	164	10.0%	1,040	63.4%	436	26.6%
合計	男	6,212	860	13.8%	4,074	65.6%	1,278	20.6%
	女	3,590	250	7.0%	2,146	59.8%	1,194	33.3%
	計	9,802	1,110	11.3%	6,220	63.5%	2,472	25.2%

2025年度 全学部学年別生活習慣統計
【平均睡眠時間】

平均 睡眠	回答者	4時間未満		4 時間以上		5 時間以上		6 時間未満		7 時間以上		8 時間以上		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
1年生	男	1,194	0	0.0%	16	1.3%	134	11.2%	582	48.7%	403	33.8%	59	4.9%
	女	846	0	0.0%	11	1.3%	119	14.1%	386	45.6%	274	32.4%	56	6.6%
	計	2,040	0	0.0%	27	1.3%	253	12.4%	968	47.5%	677	33.2%	115	5.6%
2年生	男	1,171	3	0.3%	13	1.1%	158	13.5%	474	40.5%	418	35.7%	105	9.0%
	女	782	5	0.6%	25	3.2%	142	18.2%	322	41.2%	238	30.4%	50	6.4%
	計	1,953	8	0.4%	38	1.9%	300	15.4%	796	40.8%	656	33.6%	155	7.9%
3年生	男	1,159	1	0.1%	36	3.1%	183	15.8%	477	41.2%	361	31.1%	101	8.7%
	女	729	3	0.4%	34	4.7%	160	21.9%	340	46.6%	154	21.1%	38	5.2%
	計	1,888	4	0.2%	70	3.7%	343	18.2%	817	43.3%	515	27.3%	139	7.4%
4年生	男	1,295	3	0.2%	24	1.9%	188	14.5%	523	40.4%	435	33.6%	122	9.4%
	女	752	1	0.1%	26	3.5%	136	18.1%	302	40.2%	224	29.8%	63	8.4%
	計	2,047	4	0.2%	50	2.4%	324	15.8%	825	40.3%	659	32.2%	185	9.0%
5年生	男	67	0	0.0%	0	0.0%	12	17.9%	29	43.3%	20	29.9%	6	9.0%
	女	48	0	0.0%	0	0.0%	9	18.8%	26	54.2%	12	25.0%	1	2.1%
	計	115	0	0.0%	0	0.0%	21	18.3%	55	47.8%	32	27.8%	7	6.1%
6年生	男	74	0	0.0%	3	4.1%	9	12.2%	34	45.9%	25	33.8%	3	4.1%
	女	50	0	0.0%	1	2.0%	6	12.0%	20	40.0%	22	44.0%	1	2.0%
	計	124	0	0.0%	4	3.2%	15	12.1%	54	43.5%	47	37.9%	4	3.2%
研究科	男	1,258	1	0.1%	25	2.0%	182	14.5%	471	37.4%	463	36.8%	116	9.2%
	女	382	1	0.3%	15	3.9%	71	18.6%	151	39.5%	110	28.8%	34	8.9%
	計	1,640	2	0.1%	40	2.4%	253	15.4%	622	37.9%	573	34.9%	150	9.1%
合計	男	6,218	8	0.1%	117	1.9%	866	13.9%	2,590	41.7%	2,125	34.2%	512	8.2%
	女	3,589	10	0.3%	112	3.1%	643	17.9%	1,547	43.1%	1,034	28.8%	243	6.8%
	計	9,807	18	0.2%	229	2.3%	1,509	15.4%	4,137	42.2%	3,159	32.2%	755	7.7%

2025年度 全学部学年別生活習慣統計

【朝食摂取】

朝食を 食べる	回答者		毎日食べる		時々食べる		食べない	
			人	%	人	%	人	%
1年生	男	1,193	859	72.0%	280	23.5%	54	4.5%
	女	848	682	80.4%	148	17.5%	18	2.1%
	計	2,041	1,541	75.5%	428	21.0%	72	3.5%
2年生	男	1,171	513	43.8%	498	42.5%	160	13.7%
	女	782	483	61.8%	268	34.3%	31	4.0%
	計	1,953	996	51.0%	766	39.2%	191	9.8%
3年生	男	1,159	430	37.1%	497	42.9%	232	20.0%
	女	729	366	50.2%	297	40.7%	66	9.1%
	計	1,888	796	42.2%	794	42.1%	298	15.8%
4年生	男	1,295	442	34.1%	563	43.5%	290	22.4%
	女	751	339	45.1%	303	40.3%	109	14.5%
	計	2,046	781	38.2%	866	42.3%	399	19.5%
5年生	男	67	32	47.8%	28	41.8%	7	10.4%
	女	48	36	75.0%	9	18.8%	3	6.3%
	計	115	68	59.1%	37	32.2%	10	8.7%
6年生	男	74	35	47.3%	26	35.1%	13	17.6%
	女	50	33	66.0%	16	32.0%	1	2.0%
	計	124	68	54.8%	42	33.9%	14	11.3%
研究科	男	1,259	414	32.9%	531	42.2%	314	24.9%
	女	380	161	42.4%	157	41.3%	62	16.3%
	計	1,639	575	35.1%	688	42.0%	376	22.9%
合計	男	6,218	2,725	43.8%	2,423	39.0%	1,070	17.2%
	女	3,588	2,100	58.5%	1,198	33.4%	290	8.1%
	計	9,806	4,825	49.2%	3,621	36.9%	1,360	13.9%

2025年度 定期健康診断結果（松本）

		共通教育		人文		経法		理学		医学部医学科		医学部保健科		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		2,043		553		593		671		612		443		
内科	受診者	2,043	100.0	418	75.6	511	86.2	523	77.9	605	98.9	437	98.6	
	要精検者	18	0.9	6	1.4	7	1.4	3	0.6	1	0.2	3	0.7	
	精検受診者	18	0.9	6	1.4	7	1.4	3	0.6	1	0.2	3	0.7	
	結果	健 康	6	0.3	2	0.5	4	0.8	1	0.2			3	0.7
		要観察	12	0.6	3	0.7	3	0.6	2	0.4	1	0.2		
		要医療			1	0.2								
X-P	受診者	2,042	100.0	223	40.3	281	47.4	360	53.7	604	98.7	437	98.6	
	要精検者	2	0.1			2	0.7							
	精検受診者	2	0.1			2	0.7							
	結果	健 康	1	0.0			1	0.4						
		要観察												
		要医療	1	0.0			1	0.4						
尿	受診者	1,999	97.8	337	60.9	446	75.2	456	68.0	567	92.6	417	94.1	
	要再検者	106	5.3	15	4.5	19	4.3	13	2.9	19	3.4	19	4.6	
	蛋白	81	4.1	12	3.6	11	2.5	9	2.0	15	2.6	15	3.6	
	糖	5	0.3			4	0.9	1	0.2	2	0.4			
	潜血	27	1.4	4	1.2	6	1.3	4	0.9	5	0.9	4	1.0	
	要精検者													
	精検受診者	103	5.2	15	4.5	19	4.3	12	2.6	10	1.8	19	4.6	
	蛋白	9	0.5	1	0.3			1	0.2	8	1.4			
	糖					1	0.2			2	0.4			
	潜血	9	0.5			1	0.2	3	0.7	4	0.7			
	結果	健 康	92	4.6	15	4.5	17	3.8	11	2.4	8	1.4	19	4.6
		要観察	5	0.3			1	0.2						
		要医療	6	0.3			1	0.2	1	0.2	2	0.4		
血圧	受診者	2,043	100.0	418	75.6	511	86.2	523	77.9	605	98.9	437	98.6	
	要再検者	260	12.7	4	1.0	18	3.5	14	2.7	22	3.6	9	2.1	
	低血圧													
	境界									1	0.2			
	高血圧	260	12.7	4	1.0	18	3.5	14	2.7	21	3.5	9	2.1	
	I 度													
	II 度	256	12.5	4	1.0	17	3.3	13	2.5	19	3.1	9	2.1	
	III 度	4	0.2			1	0.2	1	0.2	2	0.3			
	要精検者													
	精検受診者	247	12.1	3	0.7	18	3.5	12	2.3	17	2.8	8	1.8	
	低血圧													
	境界	148	7.2	2	0.5	11	2.2	6	1.1	10	1.7	5	1.1	
	高血圧	15	0.7	2	0.5	1	0.2	2	0.4	6	1.0	1	0.2	
	I 度													
	II 度	14	0.7	2	0.5	1	0.2	2	0.4	5	0.8	1	0.2	
	III 度	1	0.0							1	0.2			
	結果	健 康	244	11.9	2	0.5	17	3.3	12	2.3	15	2.5	8	1.8
		要観察	2	0.1	1	0.2					1	0.2		
		要医療	1	0.0			1	0.2			1	0.2		

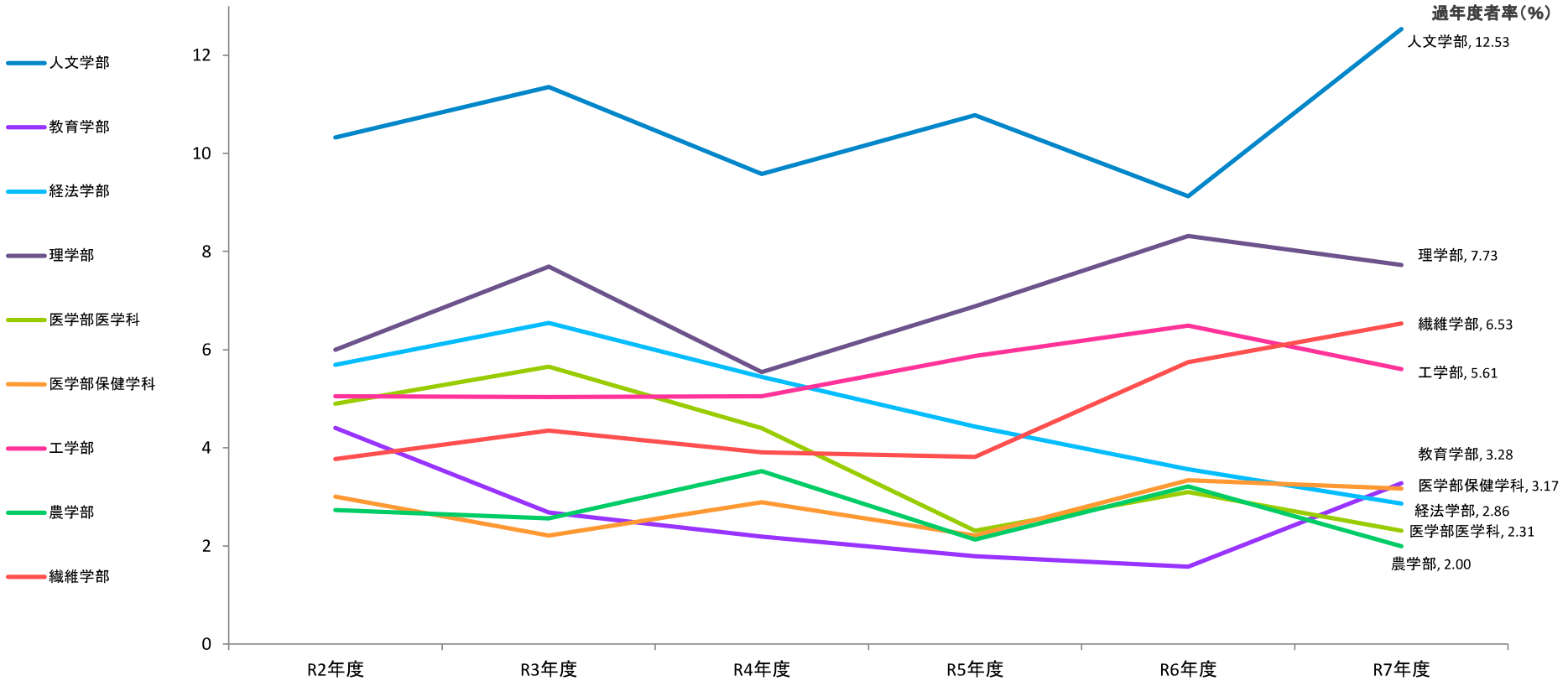
2025年度 定期健康診断結果（全学）

		教育		工学		農学		繊維		松本		大学院		計		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
対象者		766		1,613		527		938		4,915		1,728		10,487		
内科	受診者	756	98.7	1,508	93.5	508	96.4	872	93.0	4,537	92.3	1,647	95.3	9,828	93.7	
	要精検者	1	0.1	6	0.4			8	0.9	36	0.8	6	0.4	59	0.6	
	精検受診者	1	0.1	6	0.4			8	0.9	36	0.8	6	0.4	59	0.6	
	結果	健康	1	0.1	1	0.1			5	0.6	16	0.4	3	0.2	26	0.3
		要観察			5	0.3			3	0.3	19	0.4	3	0.2	32	0.3
		要医療									1	0.0			1	0.0
X-P	受診者	755	98.6	911	56.5	374	71.0	332	35.4	3,947	80.3	1,378	79.7	7,697	73.4	
	要精検者					1	0.3			3	0.1	1	0.1	6	0.1	
	精検受診者					1	0.3			3	0.1	1	0.1	6	0.1	
	結果	健康					1	0.3			2	0.1	1	0.1	4	0.1
		要観察														
		要医療									1	0.0			2	0.0
尿	受診者	742	96.9	1,481	91.8	507	96.2	873	93.1	4,222	85.9	1,614	93.4	9,439	90.0	
	要再検者	14	1.9	16	1.1	19	3.7	24	2.7	179	4.2	33	2.0	297	3.1	
	蛋白	2	0.3	5	0.3	5	1.0	7	0.8	139	3.3	10	0.6	172	1.8	
	糖	2	0.3	1	0.1	1	0.2			10	0.2	5	0.3	21	0.2	
	潜血	10	1.3	10	0.7	13	2.6	18	2.1	43	1.0	19	1.2	120	1.3	
	要精検者															
	精検受診者	13	1.8	14	0.9	18	3.6	24	2.7	166	3.9	31	1.9	278	2.9	
	蛋白	1	0.1							15	0.4	2	0.1	22	0.2	
	糖									3	0.1	3	0.2	6	0.1	
	潜血	1	0.1	4	0.3	1	0.2	3	0.3	13	0.3	8	0.5	34	0.4	
	結果	健康	11	1.5	12	0.8	17	3.4	22	2.5	156	3.7	21	1.3	245	2.6
		要観察	1	0.1	2	0.1	1	0.2	2	0.2	2	0.0	8	0.5	20	0.2
		要医療	1	0.1							8	0.2	2	0.1	13	0.1
血压	受診者	759	99.1	1,508	93.5	508	96.4	877	93.5	4,537	92.3	1,648	95.4	9,837	93.8	
	要再検者	26	3.4	78	5.2	35	6.9	37	4.2	281	6.2	112	6.8	615	6.3	
	低血压															
	境界									1	0.0			1	0.0	
	高血压	26	3.4	78	5.2	35	6.9	37	4.2	280	6.2	111	6.7	613	6.2	
	I度															
	II度	24	3.2	74	4.9	34	6.7	36	4.1	273	6.0	105	6.4	591	6.0	
	III度	2	0.3	4	0.3	1	0.2	1	0.1	7	0.2	6	0.4	22	0.2	
	要精検者															
	精検受診者	22	2.9	56	3.7	35	6.9	34	3.9	267	5.9	100	6.1	552	5.6	
	低血压															
	境界	11	1.4	44	2.9	17	3.3	12	1.4	156	3.4	51	3.1	317	3.2	
	高血压	6	0.8	22	1.5			3	0.3	19	0.4	15	0.9	73	0.7	
	I度															
	II度	6	0.8	22	1.5			3	0.3	18	0.4	15	0.9	71	0.7	
	III度									1	0.0			2	0.0	
	結果	健康	19	2.5	56	3.7	35	6.9	34	3.9	260	5.7	97	5.9	539	5.5
		要観察	2	0.3							4	0.1	1	0.1	7	0.1
		要医療	1	0.1							3	0.1	2	0.1	6	0.1

令和2年度～令和7年度 学部別過年度者数・過年度者率の変遷

(過年度者率＝各年度の在籍者数に対する最低在学年限超過学生数の割合)

区 分	R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度			R7年度		
	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)	在籍者数	過年度者数	過年度者率(%)
人文学部	707	73	10.33	696	79	11.35	699	67	9.59	705	76	10.78	712	65	9.13	742	93	12.53
教育学部	1,021	45	4.41	1,008	27	2.68	1,005	22	2.19	1,006	18	1.79	1,015	16	1.58	1,037	34	3.28
経法学部	773	44	5.69	764	50	6.54	753	41	5.44	744	33	4.44	758	27	3.56	768	22	2.86
理学部	850	51	6.00	871	67	7.69	848	47	5.54	857	59	6.88	878	73	8.31	880	68	7.73
医学部医学科	755	37	4.90	761	43	5.65	750	33	4.40	735	17	2.31	742	23	3.10	736	17	2.31
医学部保健学科	599	18	3.01	588	13	2.21	589	17	2.89	588	13	2.21	599	20	3.34	600	19	3.17
工学部	2,097	106	5.05	2,105	106	5.04	2,100	106	5.05	2,112	124	5.87	2,127	138	6.49	2,104	118	5.61
農学部	695	19	2.73	703	18	2.56	709	25	3.53	703	15	2.13	716	23	3.21	701	14	2.00
繊維学部	1,221	46	3.77	1,218	53	4.35	1,204	47	3.90	1,206	46	3.81	1,218	70	5.75	1,225	80	6.53
合 計	8,718	439	5.04	8,714	456	5.23	8,657	405	4.68	8,656	401	4.63	8,765	455	5.19	8,793	465	5.29



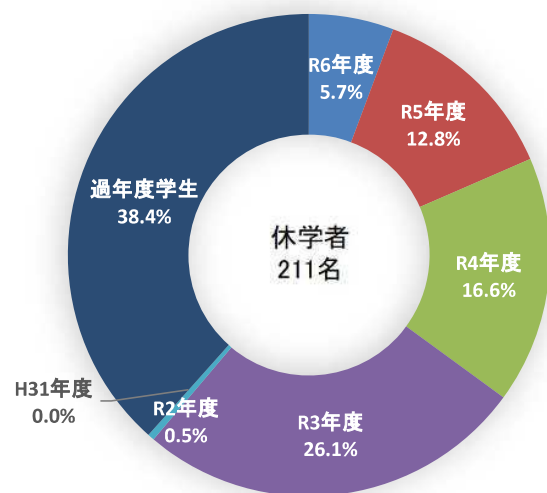
令和6年度における入学年度別休学者数調（その2 簡略版）

単位:人

学部/入学年度	R6年度		R5年度		R4年度		R3年度		R2年度		H31年度		過年度学生		合計	
人文学部	2	(0)	10	(0)	10	(2)	12	(1)					15	(0)	49	(3)
教育学部	1	(0)	2	(0)	3	(0)	8	(1)					5	(0)	19	(1)
経法学部	0	(0)	0	(0)	1	(0)	2	(0)					4	(0)	7	(0)
理学部	2	(0)	5	(0)	2	(0)	5	(0)					12	(0)	26	(0)
医学部医学科	2	(0)	0	(0)	1	(0)	4	(0)	1	(0)	0	(0)	3	(0)	11	(0)
医学部保健学科	0	(0)	4	(0)	2	(0)	3	(0)					3	(0)	12	(0)
工学部	3	(0)	3	(0)	6	(1)	9	(0)					20	(0)	41	(1)
農学部	1	(0)	2	(0)	3	(0)	5	(0)					7	(0)	18	(0)
繊維学部	1	(0)	1	(0)	7	(0)	7	(0)					12	(0)	28	(0)
計	12	(0)	27	(0)	35	(3)	55	(2)	1	(0)	0	(0)	81	(0)	211	(5)

※()内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。 ※編入生は編入先の年度に含めた。

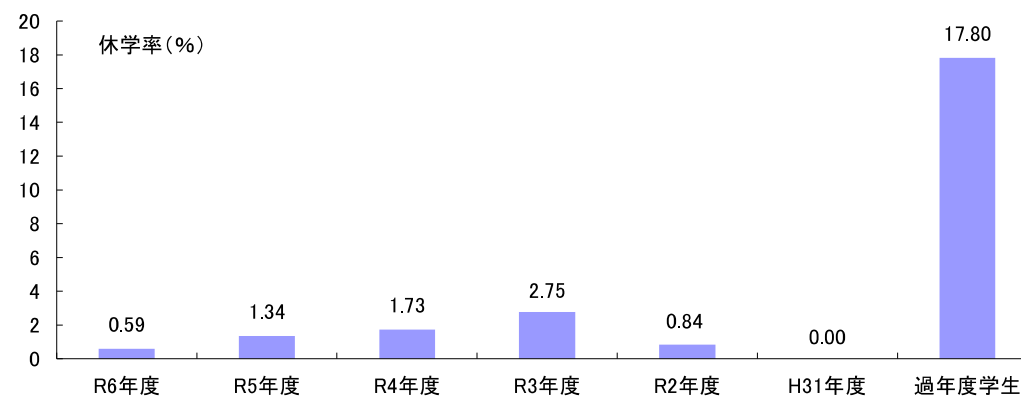
R6年度休学者の入学年度別割合



※H31年度・R2年度入学の休学者は医学科のみ対象。

在籍者総数に占める休学者の割合（入学年度別）

入学年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	H31年度	過年度学生	合計
休学者数	12	27	35	55	1	0	81	211
在籍者数	2,035	2,011	2,028	1,997	119	120	455	8,765
休学率(%)	0.59	1.34	1.73	2.75	0.84	0.00	17.80	2.41



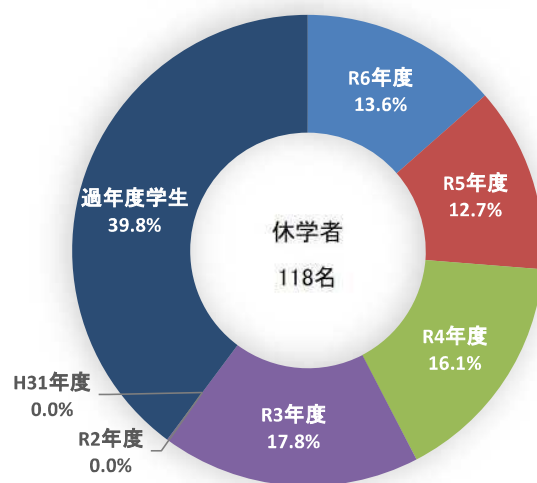
令和6年度における入学年度別退学者調

※過年度学生:最低在学年限超過学生数

学部/入学年度	R6年度			R5年度			R4年度			R3年度			R2年度			H31年度			過年度学生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文学部	1	1	2	2	4	6		3	3	1	1	2							3	2	5	7	11	18
教育学部				1		1	1		1										2		2	4	0	4
経法学部	1		1	1		1		1	1		1	1							5		5	7	2	9
理学部	4	1	5	1		1	4		4	6		6							10	1	11	25	2	27
医学部医学科																						0	0	0
医学部保健学科		1	1		1	1	1		1	1		1								1	1	2	3	5
工学部	3	1	4	2		2	5		5	5	2	7							11		11	26	3	29
農学部				3		3	1		1	2		2							4	2	6	10	2	12
繊維学部	2	1	3				3		3	2		2							6		6	13	1	14
計	11	5	16	10	5	15	15	4	19	17	4	21	0	0	0	0	0	0	41	6	47	94	24	118

※編入生は編入先の年度に含めた

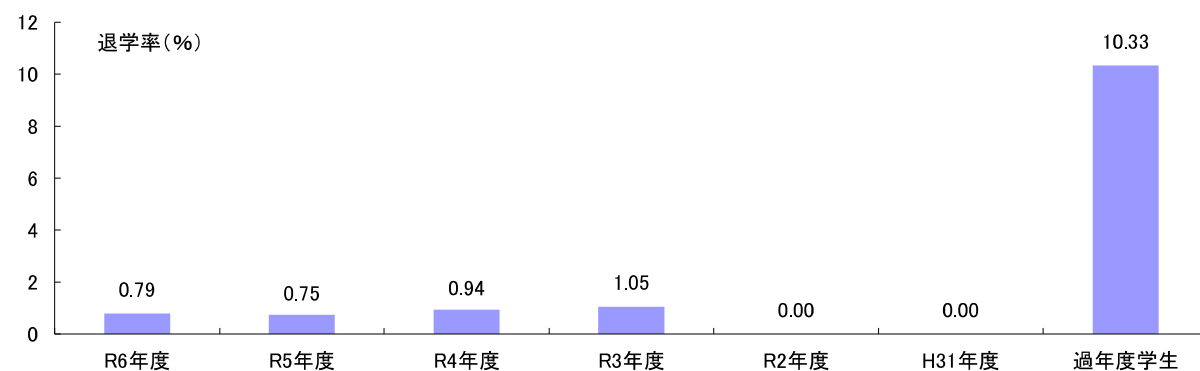
R6年度退学者の入学年度別割合



※H31年度・R2年度入学の退学者は医学科のみ対象。

在籍者総数に占める退学者の割合(入学年度別)

入学年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	H31年度	過年度学生	合計
退学者数	16	15	19	21	0	0	47	118
在籍者数	2,035	2,011	2,028	1,997	119	120	455	8,765
退学率(%)	0.79	0.75	0.94	1.05	0.00	0.00	10.33	1.35



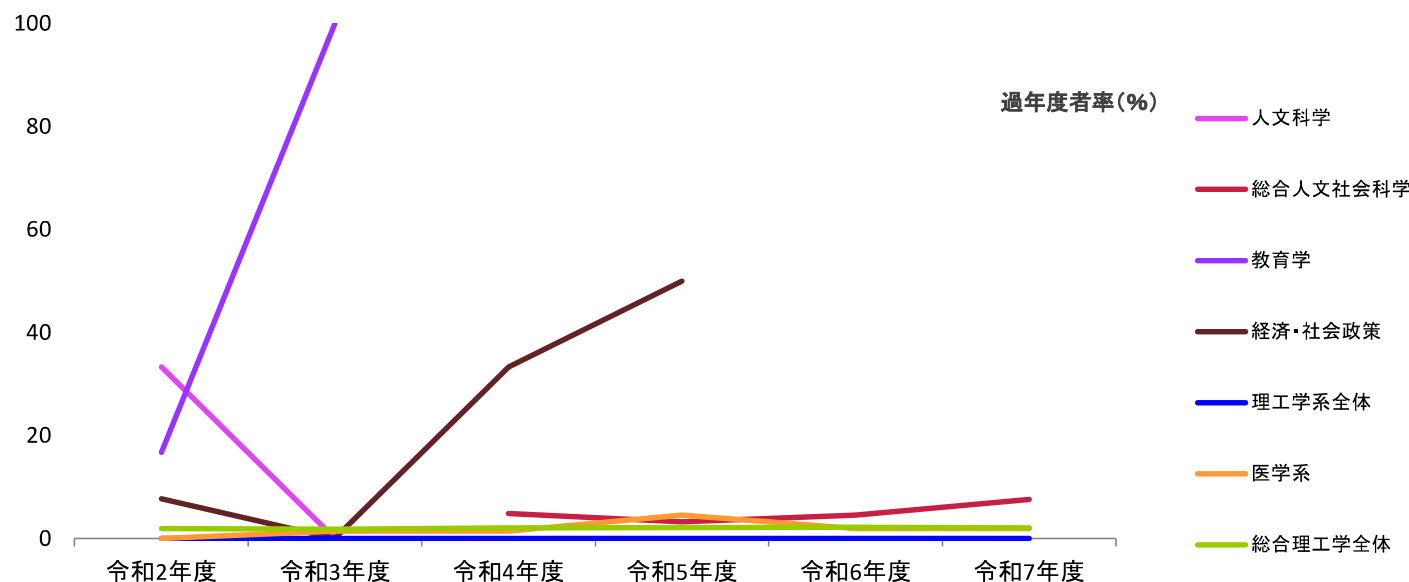
令和2年度～令和7年度 年度別過年度者率調＜修士＞

単位：％

（過年度者率＝各年度の在学学生数に対する過年度生数の割合）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人文科学	33.3	0.0				
教育学	16.7	100.0				
経済・社会政策	7.7	0.0	33.3	50		
総合人文社会科学			4.8	3.2	4.5	7.6
医学系	0.0	1.4	1.4	4.5	1.9	1.9
理工学系(理学)						
理工学系(工学)						
理工学系(繊維)						
理工学系全体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総合理工学(理学)	3.0	3.5	1.3	1.9	2.6	1.8
総合理工学(工学)	1.5	1.5	1.6	2.5	2.4	2.4
総合理工学(繊維)	2.2	1.4	2.1	2.3	1.8	1.0
総合理工学(農学)	1.8	2.3	2.9	1.5	2.1	3.0
総合理工学(生命医工)	3.7	1.1	4.4	0.0	1.8	1.0
総合理工学全体	1.9	1.8	2.0	2.1	2.2	2.0
全体平均	2.3	1.8	2.2	2.3	2.2	2.2
文系平均	9.4	2.9	6.2	4.6	4.5	7.6
理系平均	1.9	1.7	2.0	2.2	2.1	2.0

※「総合理工学研究科」は平成28年度より新設 ※「総合人文社会科学研究科」は令和2年度より新設



令和7年度 研究科別過年度者数・過年度者率調＜博士＞

令和7年5月1日現在

研究科	学生数(人)			過年度学生数(人)			過年度学生率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学系(博士課程)	3		3	3		3	100.0%	0.0%	100.0%
医学系(博士後期課程)			0			0	0.0%	0.0%	0.0%
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻			0			0	0.0%	0.0%	0.0%
総合工学系 システム開発工学専攻	2		2			0	0.0%	0.0%	0.0%
総合工学系 物質創成科学専攻			0			0	0.0%	0.0%	0.0%
総合工学系 山岳地域環境科学専攻	2		2	1		1	50.0%	0.0%	50.0%
総合工学系 生物・食料科学専攻			0			0	0.0%	0.0%	0.0%
総合医理工学研究科 医学系専攻(4年制)	136	49	185	17	2	19	12.5%	4.1%	10.3%
総合医理工学研究科 医学系専攻(3年制)	19	14	33	1	1	2	5.3%	7.1%	6.1%
総合医理工学研究科 総合理工学専攻(3年制)	139	45	184	13	5	18	9.4%	11.1%	9.8%
総合医理工学研究科 生命医工学専攻(4年制)	43	17	60	6		6	14.0%	0.0%	10.0%
総合医理工学研究科 生命医工学専攻(3年制)	11	3	14	3	1	4	27.3%	33.3%	28.6%
計	355	128	483	44	9	53	12.4%	7.0%	11.0%

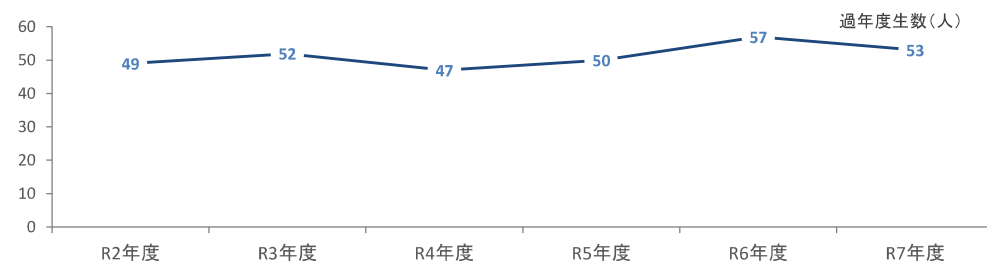
※「総合医理工学研究科」は平成30(2018)年度より新設

合計

医学系	留年生	留年率
3	3	100.0%
総合工学系	留年生	留年率
4	1	25.0%
総合医理工	留年生	留年率
476	49	10.3%
483	53	11.0%

令和2年度～令和7年度 過年度者数の変遷＜博士＞

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
過年度生数(人)	49	52	47	50	57	53



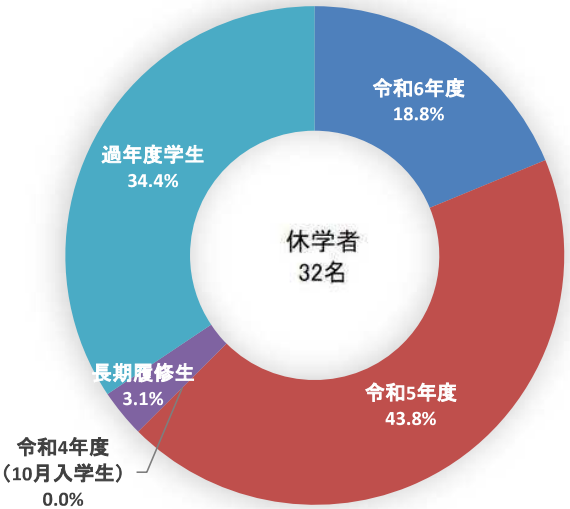
令和6年度における入学年度別休学者調<修士>（その2簡略版）

単位：人

研究科/入学年度	令和6年度		令和5年度		令和4年度 (10月入学生)		長期履修生		過年度学生		合計	
総合人文社会科学			1				1		2		4	0
医学系			2						1		3	0
総合理工学(理学)	2		2						2		6	0
総合理工学(工学)	4		2						3		9	0
総合理工学(繊維)			5	1					1		6	1
総合理工学(農学)			2						1		3	0
総合理工学(生命医工)									1		1	0
計	6	0	14	1	0	0	1	0	11	0	32	1

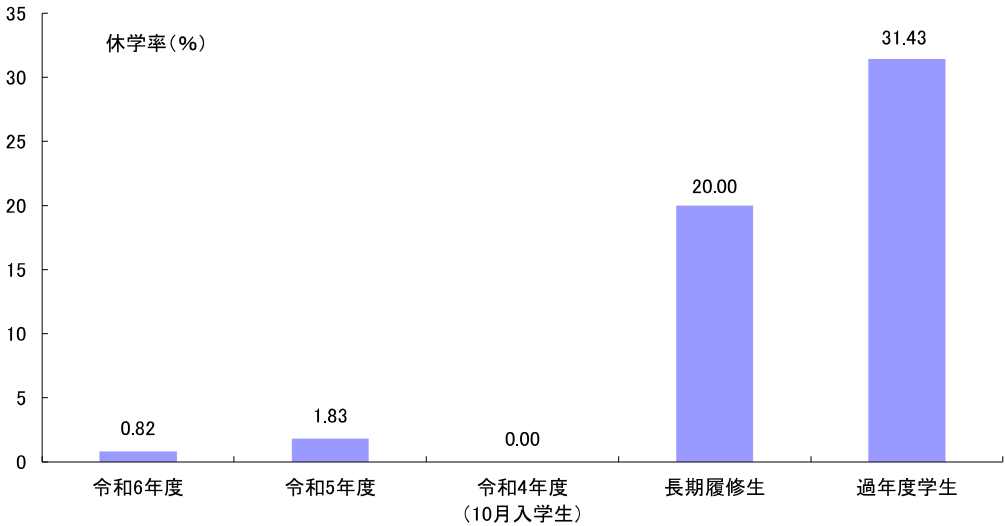
※太枠内は、積極的理由群の「留学のため」で、内数を示す。

休学者の入学年度別割合



在籍者総数に占める休学者の割合（入学年度別）

入学年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度 (10月入学生)	長期履修生	過年度学生
休学者数	6	14	0	1	11
在籍者数	729	767	20	5	35
休学率(%)	0.82	1.83	0.00	20.00	31.43



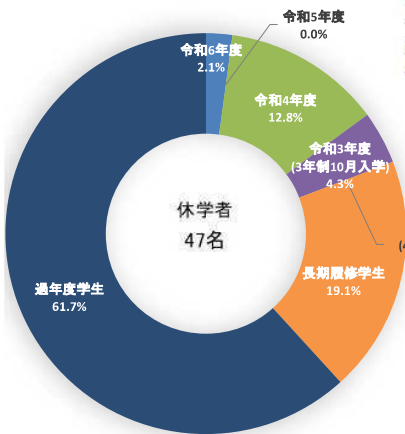
令和6年度における入学年度別休学者調<博士>(その2簡略版)

単位:人

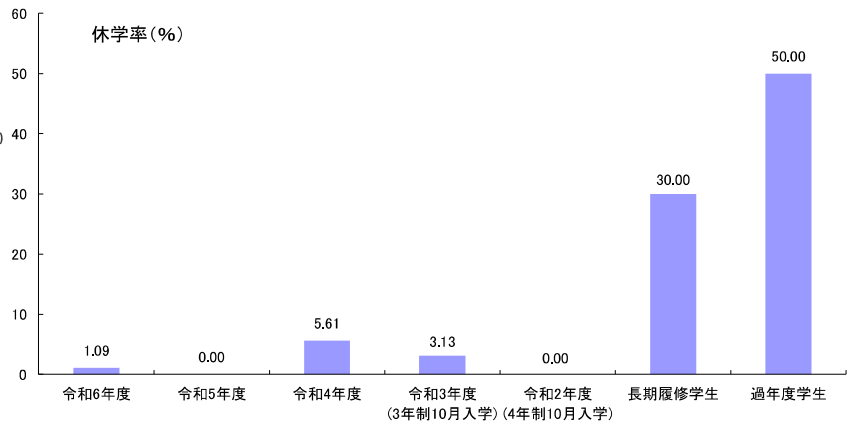
研究科/入学年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度 (3年制10月入学)	令和2年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生	合計
医学系(博士課程)【4年制】							4	4
医学系(博士後期課程)【3年制】							1	1
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】								0
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】						1		1
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】								0
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】						1		1
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】								0
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【4年制】)			1				14	15
総合医理工学研究科 [医学系専攻](博士課程【3年制】)						4	1	5
総合医理工学研究科 [総合理工学専攻](博士課程【3年制】)	1		2	2		2	6	13
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【4年制】)			1				1	2
総合医理工学研究科 [生命医工学専攻](博士課程【3年制】)			2			1	2	5
計	1	0	6	2	0	9	29	47

※「総合医理工学研究科」は平成30年度より新設。

休学者の入学年度別割合



入学年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度 (3年制10月入学)	令和2年度 (4年制10月入学)	長期履修学生	過年度学生
休学者数	1	0	6	2	0	9	29
在学者数	92	108	107	64	2	30	58
休学率(%)	1.09	0.00	5.61	3.13	0.00	30.00	50.00



令和6年度における入学年度別退学者調＜修士＞

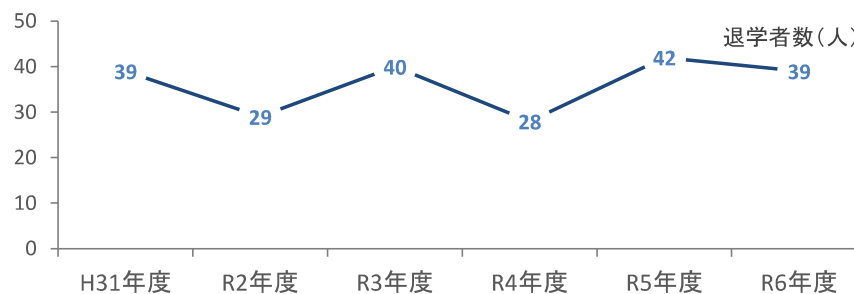
単位:人

研究科 入学年度	令和6年度			令和5年度			令和4年度 (10月入学生)			長期履修学生			過年度学生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合人文社会科学														1	1	0	1	1
医学系					1	1										0	1	1
総合理工学(理学)		1	1	3	1	4							2		2	5	2	7
総合理工学(工学)	5	1	6	7		7							4		4	16	1	17
総合理工学(繊維)	2		2	2	3	5										4	3	7
総合理工学(農学)	1		1	1	1	2							1	1	2	3	2	5
総合理工学(生命医工)				1		1										1	0	1
総合理工学全体	8	2	10	14	5	19	0	0	0	0	0	0	7	1	8	29	8	37
計	8	2	10	14	6	20	0	0	0	0	0	0	7	2	9	29	10	39

平成31年度～令和6年度 退学者数などの変遷＜修士＞

(1)各年度の退学者数

区 分	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
退学者数(人)	39	29	40	28	42	39



令和6年度における入学年度別退学者調＜博士＞

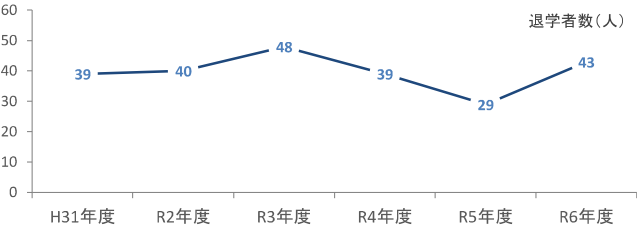
単位：人

研究科 入学年度	令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度 (3年制10月入学)			令和2年度 (4年制10月入学)			長期履修学生			過年度学生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学系(博士課程)【4年制】			0			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1
医学系(博士後期課程)【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 生命機能・ファイバー工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 システム開発工学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 物質創成科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 山岳地域環境科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合工学系 生物・食料科学専攻【3年制】			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0
総合医理工学研究科 医学系専攻【4年制】			0	1		1			0	9	2	11	1	1	2			0	3	5	8	14	8	22
総合医理工学研究科 医学系専攻【3年制】			0			0			0			0			0	3		3			0	3	0	3
総合医理工学研究科 総合理工学専攻【3年制】			0	1		1	1		1	2		2			0			0	2	2	4	6	2	8
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【4年制】			0			0			0	4	1	5			0			0			0	4	1	5
総合医理工学研究科 生命医工学専攻【3年制】			0			0	2		2			0			0			0	2		2	4	0	4
計	0	0	0	2	0	2	3	0	3	15	3	18	1	1	2	3	0	3	8	7	15	32	11	43

※ H30年4月より医学系研究科と総合工学系研究科を「医学系専攻」、「総合理工学専攻」、「生命医工学専攻」の3専攻に統合再編「総合医理工学研究科」を設置

平成31年度～令和6年度 退学者数などの変遷＜博士＞

区 分	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
退学者数(人)	39	40	48	39	29	43



2025年度 施設利用状況(学生)

* 人数は延人数 ()内は%

	業務内容	松本	教育	工学	農学	繊維	合計
101	専任：内科	39 (0.6)	7 (0.4)	12 (0.4)	4 (0.2)	11 (0.6)	73 (0.5)
102	専任：精神科	254 (3.7)	3 (0.2)	4 (0.1)	1 (0.0)	14 (0.7)	276 (1.8)
106	産業：医療面談						
107	産業：産業医面談						
108	産業：過重労働面談						
109	産業：希望面談						
111	校医：内科	23 (0.3)	4 (0.2)				27 (0.2)
112	校医：精神科				9 (0.4)	7 (0.4)	16 (0.1)
114	校医：整形外科						
117	校医：産婦人科						
118	校医：皮膚科						
121	他医：医療機関へ紹介	55 (0.8)	10 (0.6)	8 (0.3)	2 (0.1)	6 (0.3)	81 (0.5)
131	医師：臨時健康診断						
132	医師：特別定期健診	56 (0.8)	6 (0.3)	247 (8.6)		340 (17.1)	649 (4.2)
201	検査：身体計測	125 (1.8)	95 (5.4)	103 (3.6)	43 (2.1)	15 (0.8)	381 (2.4)
202	検査：血圧測定	264 (3.8)	89 (5.1)	159 (5.6)	62 (3.0)	99 (5.0)	673 (4.3)
204	検査：尿	175 (2.5)	104 (5.9)	50 (1.7)	29 (1.4)	126 (6.3)	484 (3.1)
205	検査：視聴力・色覚	1 (0.0)	27 (1.5)	3 (0.1)	3 (0.1)	24 (1.2)	58 (0.4)
206	検査：心電図	4 (0.1)					4 (0.0)
207	検査：バイタル測定	114 (1.6)	28 (1.6)	66 (2.3)	100 (4.9)	23 (1.2)	331 (2.1)
211	処置：外傷	48 (0.7)	15 (0.9)	26 (0.9)	31 (1.5)	21 (1.1)	141 (0.9)
212	処置：打撲・捻挫	29 (0.4)	2 (0.1)	13 (0.5)	19 (0.9)	10 (0.5)	73 (0.5)
213	処置：熱傷	3 (0.0)		1 (0.0)	9 (0.4)	7 (0.4)	20 (0.1)
214	処置：咬刺症	6 (0.1)	4 (0.2)	4 (0.1)	14 (0.7)	4 (0.2)	32 (0.2)
215	処置：皮膚疾患	3 (0.0)	1 (0.1)		7 (0.3)	2 (0.1)	13 (0.1)
216	処置：その他	36 (0.5)	1 (0.1)	12 (0.4)	11 (0.5)	4 (0.2)	64 (0.4)
221	看護：投薬	12 (0.2)	4 (0.2)	2 (0.1)	11 (0.5)	2 (0.1)	31 (0.2)
231	看護：健康相談	1,455 (21.0)	532 (30.4)	358 (12.5)	788 (38.5)	307 (15.4)	3,440 (22.1)
235	看護：労働衛生相談	5 (0.1)					5 (0.0)
236	医療機関紹介	96 (1.4)	5 (0.3)	26 (0.9)	40 (2.0)	27 (1.4)	194 (1.2)
238	搬送	8 (0.1)	2 (0.1)	2 (0.1)	7 (0.3)	2 (0.1)	21 (0.1)
241	看護：インテーク	144 (2.1)	3 (0.2)	18 (0.6)	28 (1.4)	53 (2.7)	246 (1.6)
260	看護：感染症相談	1,183 (17.1)	167 (9.5)	376 (13.2)	174 (8.5)	351 (17.6)	2,251 (14.5)
251	看護：その他	1,550 (22.4)	23 (1.3)	389 (13.6)		12 (0.6)	1,974 (12.7)
305	常勤：心理士の面談	983 (14.2)	427 (24.4)	873 (30.5)	520 (25.4)	405 (20.3)	3,208 (20.6)
306	非常勤：心理士の面談	47 (0.7)	101 (5.8)				148 (1.0)
307	学生相談センター						
401	自主：身体計測	15 (0.2)	1 (0.1)	33 (1.2)	50 (2.4)	64 (3.2)	163 (1.0)
402	自主：血圧測定	15 (0.2)		5 (0.2)	25 (1.2)	20 (1.0)	65 (0.4)
403	自主：休養	55 (0.8)	27 (1.5)	20 (0.7)	52 (2.5)	20 (1.0)	174 (1.1)
404	自主：その他						
501	健康診断証明書	110 (1.6)	63 (3.6)	48 (1.7)	6 (0.3)	15 (0.8)	242 (1.6)
計		6,913 (100.0)	1,751 (100.0)	2,858 (100.0)	2,045 (100.0)	1,991 (100.0)	15,558 (100.0)

2025年度 施設利用状況(職員)

* 人数は延人数 ()内は%

	業務内容	松本	教育	工学	農学	繊維	合計
101	専任：内科	12 (0.8)	2 (0.9)	8 (1.8)		3 (0.8)	25 (0.9)
102	専任：精神科	208 (14.7)	1 (0.4)				209 (7.6)
106	産業：医療面談	20 (1.4)	3 (1.3)	1 (0.2)	3 (1.0)	1 (0.3)	28 (1.0)
107	産業：産業医面談	58 (4.1)	12 (5.4)	8 (1.8)		14 (4.0)	92 (3.4)
108	産業：過重労働面談	14 (1.0)		1 (0.2)		8 (2.3)	23 (0.8)
109	産業：希望面談	1 (0.1)		1 (0.2)	9 (3.0)		11 (0.4)
111	校医：内科		3 (1.3)				3 (0.1)
112	校医：精神科					3 (0.8)	3 (0.1)
114	校医：整形外科						
117	校医：産婦人科						
118	校医：皮膚科						
121	他医：医療機関へ紹介	10 (0.7)	3 (1.3)	1 (0.2)			14 (0.5)
131	医師：臨時健康診断					3 (0.8)	3 (0.1)
132	医師：特別定期健診	38 (2.7)	1 (0.4)	101 (23.2)	15 (4.9)	80 (22.6)	235 (8.6)
201	検査：身体計測	3 (0.2)	10 (4.5)		1 (0.3)		14 (0.5)
202	検査：血圧測定	3 (0.2)	14 (6.3)		9 (3.0)	2 (0.6)	28 (1.0)
204	検査：尿	1 (0.1)	1 (0.4)		1 (0.3)	2 (0.6)	5 (0.2)
205	検査：視聴力・色覚		1 (0.4)				1 (0.0)
206	検査：心電図	1 (0.1)					1 (0.0)
207	検査：バイタル測定	7 (0.5)	6 (2.7)	20 (4.6)	15 (4.9)	10 (2.8)	58 (2.1)
211	処置：外傷	14 (1.0)	7 (3.1)	54 (12.4)	14 (4.6)	10 (2.8)	99 (3.6)
212	処置：打撲・捻挫	6 (0.4)	4 (1.8)	21 (4.8)	4 (1.3)	5 (1.4)	40 (1.5)
213	処置：熱傷			1 (0.2)	2 (0.7)	3 (0.8)	6 (0.2)
214	処置：咬刺症	7 (0.5)	1 (0.4)	3 (0.7)	4 (1.3)	3 (0.8)	18 (0.7)
215	処置：皮膚疾患	4 (0.3)			1 (0.3)	1 (0.3)	6 (0.2)
216	処置：その他	7 (0.5)	2 (0.9)	6 (1.4)	2 (0.7)	1 (0.3)	18 (0.7)
221	看護：投薬	10 (0.7)	5 (2.2)		22 (7.2)	7 (2.0)	44 (1.6)
231	看護：健康相談	445 (31.4)	114 (50.9)	92 (21.1)	161 (52.8)	82 (23.2)	894 (32.7)
235	看護：労働衛生相談	198 (14.0)					198 (7.2)
236	医療機関紹介	9 (0.6)	8 (3.6)	7 (1.6)	7 (2.3)	2 (0.6)	33 (1.2)
238	搬送		2 (0.9)			1 (0.3)	3 (0.1)
241	看護：インテーク	30 (2.1)		2 (0.5)		4 (1.1)	36 (1.3)
260	看護：感染症相談	7 (0.5)	1 (0.4)		13 (4.3)	29 (8.2)	50 (1.8)
251	看護：その他	224 (15.8)	5 (2.2)	61 (14.0)	1 (0.3)	3 (0.8)	294 (10.7)
305	常勤：心理士の面談	1 (0.1)		33 (7.6)		4 (1.1)	38 (1.4)
306	非常勤：心理士の面談	26 (1.8)	8 (3.6)				34 (1.2)
307	学生相談センター						
401	自主：身体計測	1 (0.1)		1 (0.2)	4 (1.3)	35 (9.9)	41 (1.5)
402	自主：血圧測定				14 (4.6)	36 (10.2)	50 (1.8)
403	自主：休養	16 (1.1)	2 (0.9)	14 (3.2)	3 (1.0)	2 (0.6)	37 (1.4)
404	自主：その他		2 (0.9)				2 (0.1)
501	健康診断証明書	38 (2.7)	6 (2.7)				44 (1.6)
計		1,419 (100.0)	224 (100.0)	436 (100.0)	305 (100.0)	354 (100.0)	2,738 (100.0)

令和8年5月

編集・発行 信州大学総合健康安全センター

〒390-8621

長野県松本市旭 3-1-1

電話 (0263) 37-2157・3516

FAX (0263) 37-3514